

「はたらき」を化学する

2017年度決算説明資料

三洋化成工業株式会社
代表取締役社長 安藤 孝夫

<https://www.sanyo-chemical.co.jp/>

コード番号:4471



<注意事項>

この資料に記載している金額は表示単位未満を切り捨てで、その他、比率等は表示単位未満を四捨五入しております。

<免責事項>

この資料には、2018年5月21日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測等が含まれています。世界経済・競合状況・為替の変動・原料価格の動向等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予測と大幅に異なる可能性があります。

<IRに関するお問い合わせ>

三洋化成工業株式会社 広報部

TEL 075-541-4312

FAX 075-551-2557

E-mail pr-group@sanyo-chemical.com

創 立: 1949(昭和24)年11月1日

本 社: 京都市東山区

資 本 金: 13,051百万円

国内営業所: 東京、大阪、名古屋、広島、福岡、富山

国内工場: 名古屋、衣浦、鹿島、京都、川崎(サンケミカル)

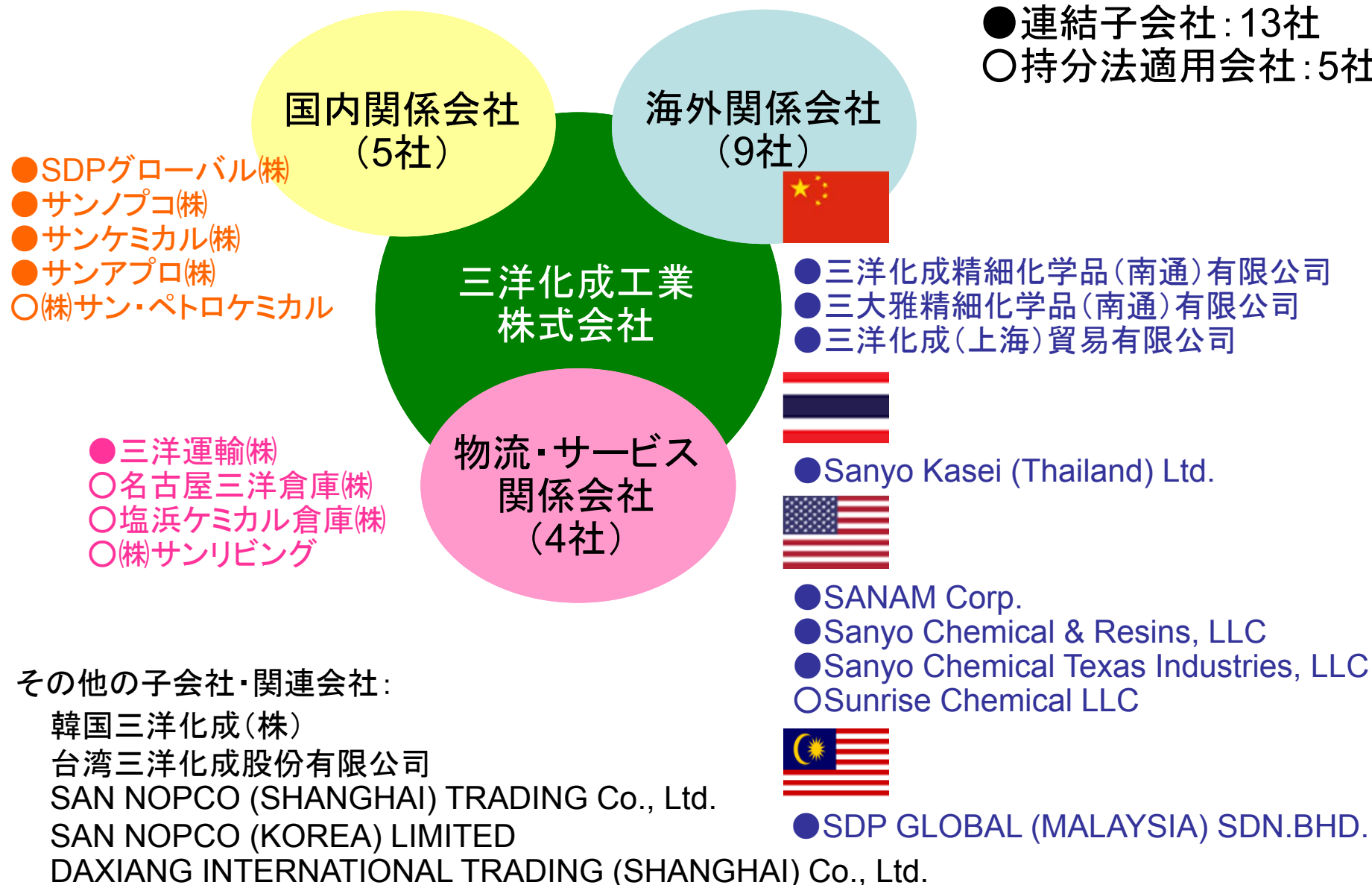
従業員数: 2,053名(連結)[2018年3月31日現在]

事業内容: 約3,000種のパフォーマンス・ケミカルス
(機能化学品)の製造・販売

三洋化成グループ



●連結子会社: 13社
○持分法適用会社: 5社



国内生産拠点



京都工場・本社・研究所
(東山区、約2.6万m²)



鹿島工場
(茨城県神栖市、約13.0万m²)



名古屋工場
(愛知県東海市、約10.0万m²)



衣浦工場
(愛知県半田市、約14.0万m²)



サンケミカル 川崎工場
(神奈川県川崎市、約1.1万m²)

海外生産拠点

 三洋化成精細化学品(南通)有限公司



 三大雅精細化学品(南通)有限公司



 Sanyo Chemical & Resins, LLC



 Sanyo Kasei (Thailand) Ltd.



SDP GLOBAL(MALAYSIA)SDN.BHD.



Sanyo Chemical Texas Industries, LLC



海外営業拠点

-  三洋化成(上海)貿易有限公司
-  SAN NOPCO (SHANGHAI) TRADING Co., Ltd.
-  DaXiang International Trading (SHANGHAI) Co., Ltd.



-  韓国三洋化成株式会社
-  SAN NOPCO (KOREA) LIMITED



-  Sanyo Kasei (Thailand) Ltd.



-  台湾三洋化成股份有限公司

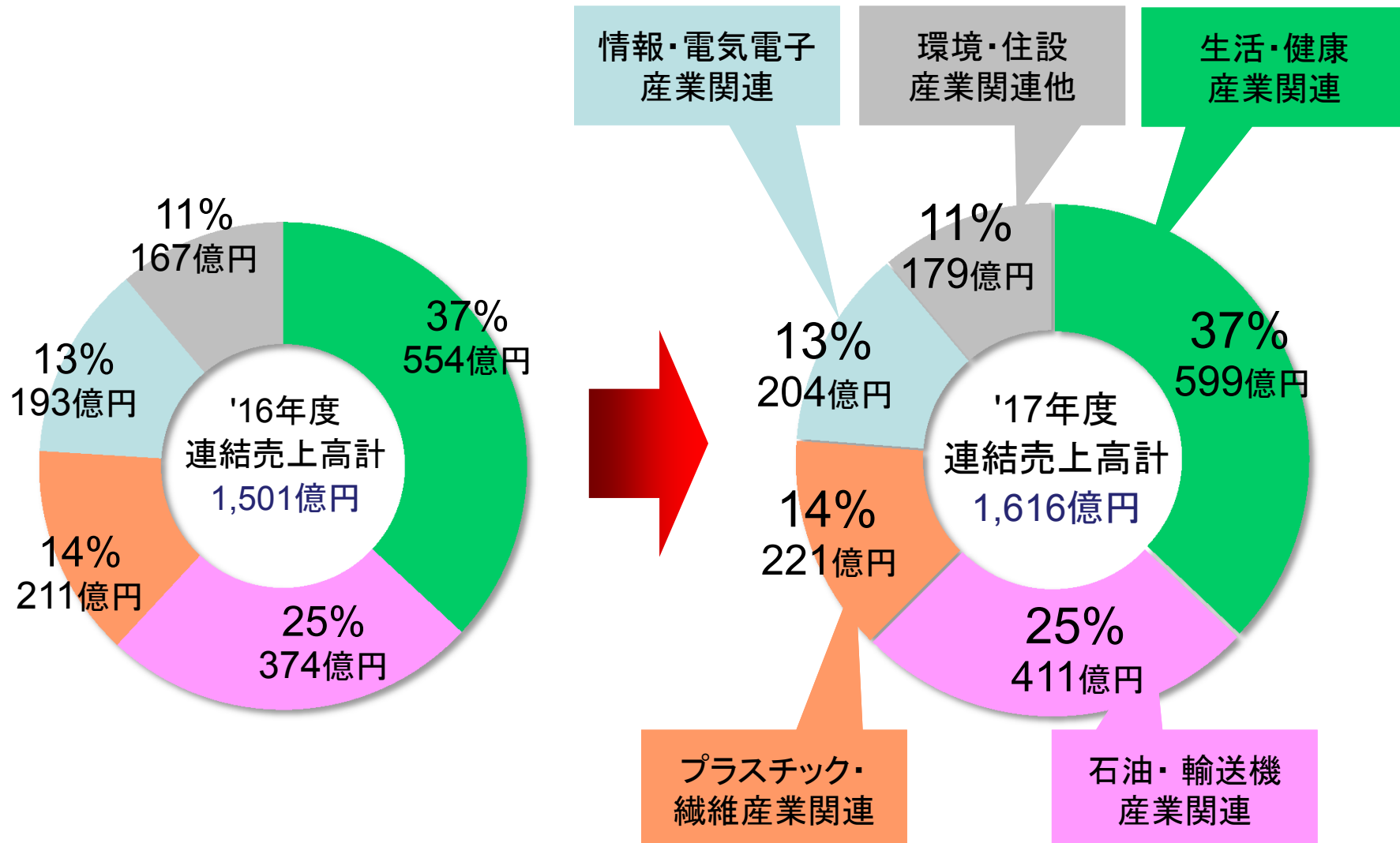


-  SANAM Corp.

産業分野別主要製品

大分類	中分類	主要製品
生活・健康 産業関連	生活産業関連	洗剤・洗浄剤用界面活性剤、ヘアケア製品用界面活性剤、 製紙用薬剤
	健康産業関連	高吸水性樹脂(SAP)、医薬品原料、殺菌消毒剤、外科用止血材、 EIA(酵素免疫測定法)用臨床検査薬、人工腎臓用ポッティング材
石油・輸送機産業関連		自動車内装表皮材用ウレタンビーズ(TUB)、ポリウレタンフォーム用 原料(PPG)、潤滑油添加剤、燃料油添加剤、水溶性切削油、非ハロ ゲン系洗浄剤、合成潤滑油ベース、デザインモデル製作用盛り付け 樹脂、自動車塗料用樹脂
プラスチック ・繊維 産業関連	プラスチック 産業関連	永久帯電防止剤、顔料分散剤、樹脂改質剤、塗料用樹脂、消泡剤、 ポリウレタンエラストマー原料、モデル製作用合成木材
	繊維産業関連	繊維製造用薬剤、炭素繊維用薬剤、ガラス繊維用薬剤、 人工皮革・合成皮革用ウレタン樹脂
情報 ・電気電子 産業関連	情報産業関連	重合トナー中間体ポリエステルビーズ(PEB)、トナーバインダー
	電気電子 産業関連	アルミ電解コンデンサ用電解液、電気二重層キャパシタ用電解液、 電子材料用粘着剤、電子部品製造工程用薬剤、UV・EB硬化樹脂
環境・住設産業関連他		廃水処理用高分子凝集剤、カチオンモノマー、家具・断熱材用PPG、 泥水用薬剤、反応性ホットメルト接着剤、建築シーラント用原料、 セメント用薬剤

連結産業分野別売上高構成

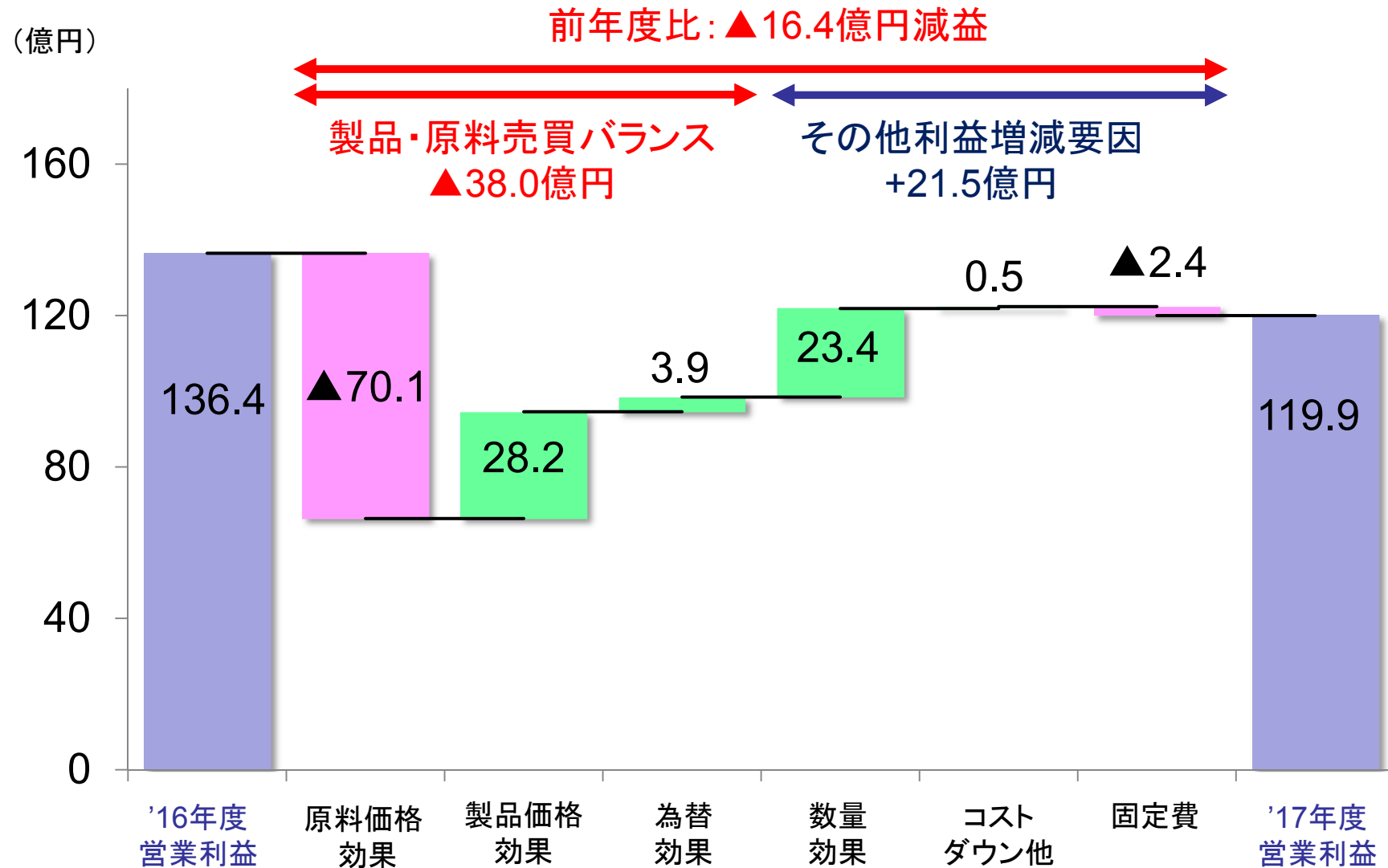


'17年度業績

(億円)

連 結	'16年度	'17年度	前年度比	
			増減額	増減率(%)
売上高	1,501.6	1,616.9	115.2	8
営業利益	136.4	119.9	▲16.4	▲12
経常利益	153.4	138.6	▲14.7	▲10
親会社株主に帰属 する当期純利益	101.9	92.7	▲9.2	▲9
包括利益	111.9	113.5	1.5	1

連結営業利益の前年度比増減要因



連結純利益の前年度比増減要因

(億円)

	'16年度	'17年度	増減額
営業利益	136.4	119.9	▲16.4
持分法投資損益	11.9	8.3	▲3.5
為替差損益	▲1.4	2.2	3.6
その他営業外損益	6.4	8.1	1.6
経常利益	153.4	138.6	▲14.7
固定資産除却・売却による損益	▲6.8	▲10.4	▲3.5
減損損失	▲8.3	—	8.3
工場閉鎖損失	—	▲7.6	▲7.6
その他特別損益	0.3	0.8	0.5
税金等調整前当期純利益	138.5	121.4	▲17.0
法人税等	▲30.2	▲27.7	2.4
非支配株主に帰属する当期純利益	▲6.4	▲0.9	5.4
親会社株主に帰属する当期純利益	101.9	92.7	▲9.2

連結貸借対照表



(億円)

	2017年 3月31日	2018年 3月31日	増減額	主な増減要因
流動資産	853	901	47	現金及び預金(▲57)、受取手形及び売掛金・電子記録債権(75)、たな卸資産(23)
固定資産	1,015	1,100	84	有形固定資産(63)、投資有価証券(12)
資産合計	1,868	2,001	132	
流動負債	444	501	57	買掛金・電子記録債務(82)、短期借入金(▲30)
固定負債	147	136	▲10	長期借入金(▲22)、繰延税金負債(3)
負債合計	592	638	46	
株主資本	1,081	1,150	68	当期純利益(92)、配当金支払(▲24)
その他 包括利益	134	150	16	その他有価証券評価差額金(8)、 為替換算調整勘定(7)
非支配株主持分	60	61	1	
純資産合計	1,276	1,362	86	
負債・純資産合計	1,868	2,001	132	

連結キャッシュフロー計算書



(億円)

	'16年度	'17年度	増減額	特記事項
営業活動CF	204	157	▲47	
税金等調整前純利益	138	121	▲17	
減価償却費	74	83	8	
持分法投資損益	▲11	▲8	3	
運転資金の増減	13	▲15	▲28	
法人税等	▲30	▲31	▲0	
その他	19	6	▲12	
投資活動CF	▲141	▲141	0	固定資産の取得 '16: ▲133 '17: ▲130
フリーCF	62	15	▲47	
財務活動CF	▲10	▲73	▲62	借入・返済 '16: 12 '17: ▲45
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲7	0	8	
現金及び現金同等物の増減額	44	▲57	▲101	
現金及び現金同等物の期首残高	193	231	38	
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額	▲6	—	6	
現金及び現金同等物の期末残高	231	173	▲57	

'18年度業績予想について

＜業績予想の前提条件＞

国産ナフサ価格:47千円／kl、為替レート:110円／ドル

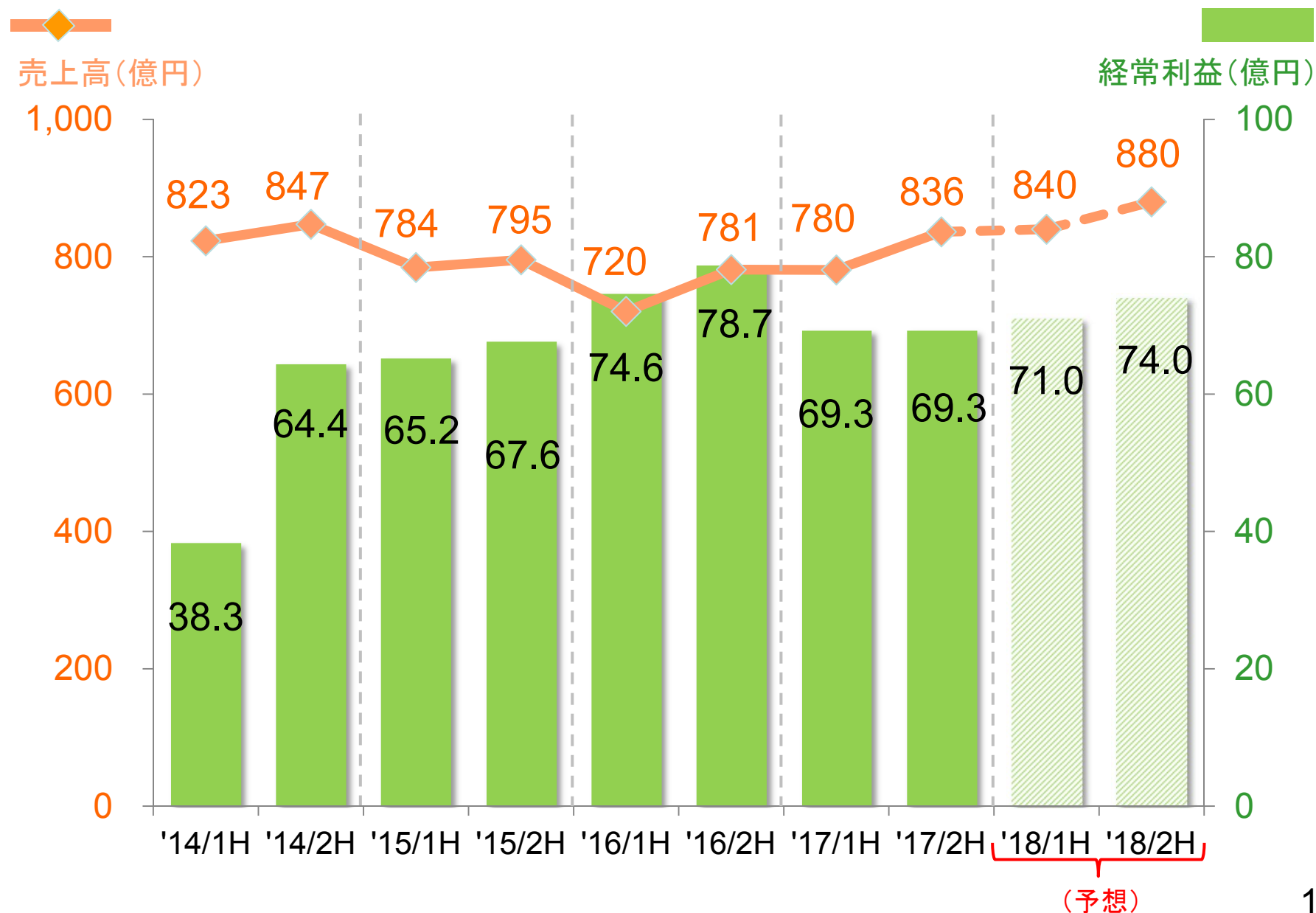
(億円)

連 結	通 期			第2四半期(4-9月期)		
	'18年度 予想値	'17年度 実績	増減率(%)	'18年度 予想値	'17年度 実績	増減率(%)
売上高	1,720	1,616	6	840	780	7
営業利益	130	119	8	63	58	8
経常利益	145	138	5	71	69	2
親会社株主に帰属 する当期純利益	100	92	8	49	47	3
ROE	7.5	7.4	+0.1pt			

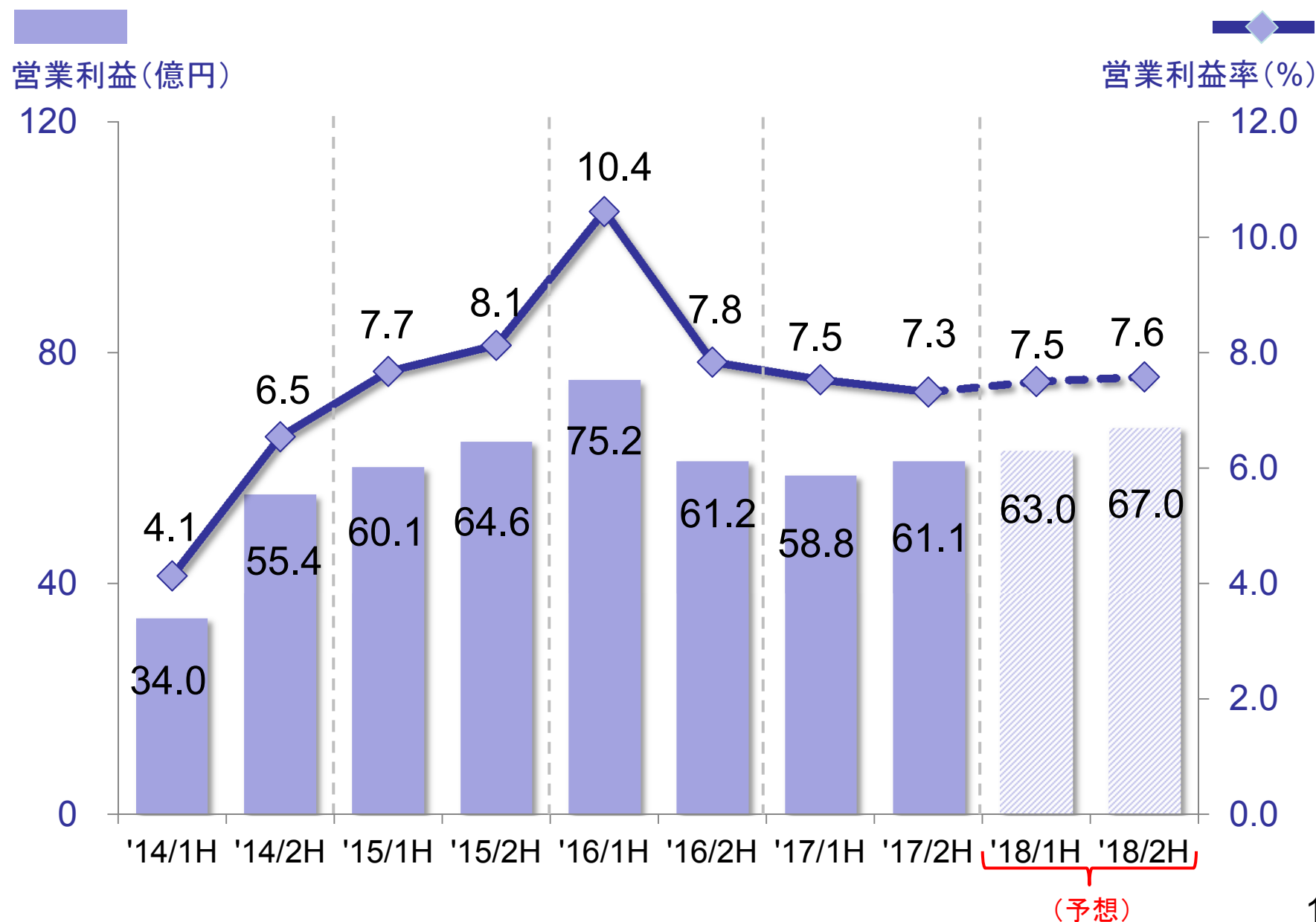
主要経営指標

	単位	'16年度	'17年度	前年度比
総資産	億円	1,868	2,001	+132
総資産経常利益率	%	8.5	7.2	▲1.3pt
自己資本	億円	1,216	1,300	+84
自己資本比率	%	65.1	65.0	▲0.1pt
自己資本当期純利益率	%	8.7	7.4	▲1.3pt
有利子負債	億円	152	105	▲46
負債資本倍率(D/Eレシオ)	倍	0.13	0.08	▲0.05

連結業績の推移(半期)



連結営業利益(同率)の推移(半期)



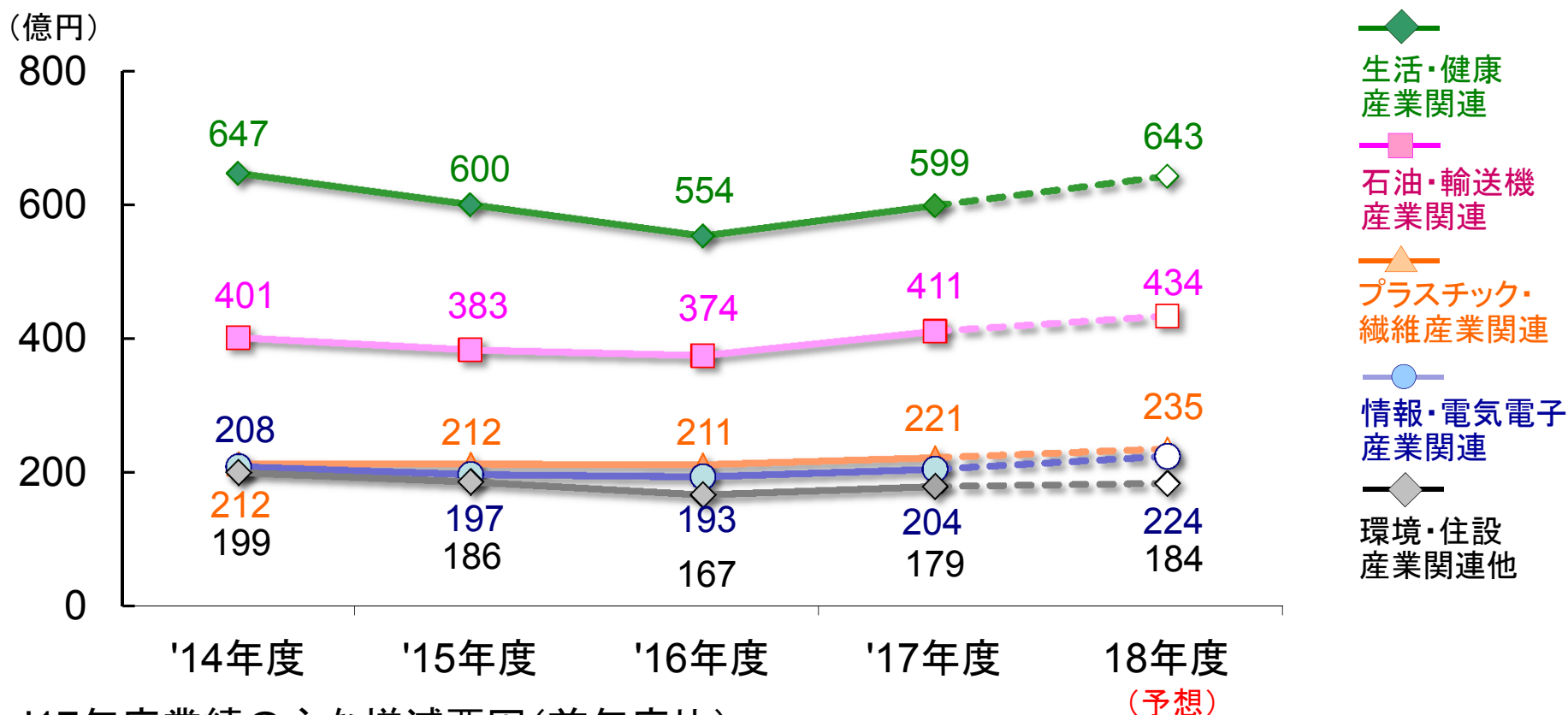
'17年度 産業分野別業績



(億円)

産業分野	売上高			営業利益		
	'16年度	'17年度	増減額	'16年度	'17年度	増減額
生活・健康産業関連	554.4	599.5	45.0	35.9	11.3	▲24.6
生活産業関連	129.4	132.3	2.9			
健康産業関連	425.0	467.1	42.1			
石油・輸送機産業関連	374.9	411.1	36.1	21.1	27.1	6.0
プラスチック・繊維産業関連	211.5	221.9	10.3	41.7	39.6	▲2.1
プラスチック産業関連	142.0	151.2	9.1			
繊維産業関連	69.4	70.6	1.1			
情報・電気電子産業関連	193.6	204.8	11.1	27.7	32.0	4.3
情報産業関連	128.4	134.4	5.9			
電気電子産業関連	65.1	70.4	5.2			
環境・住設産業関連他	167.0	179.4	12.4	9.8	9.7	▲0.1
合計	1,501.6	1,616.9	115.2	136.4	119.9	▲16.4

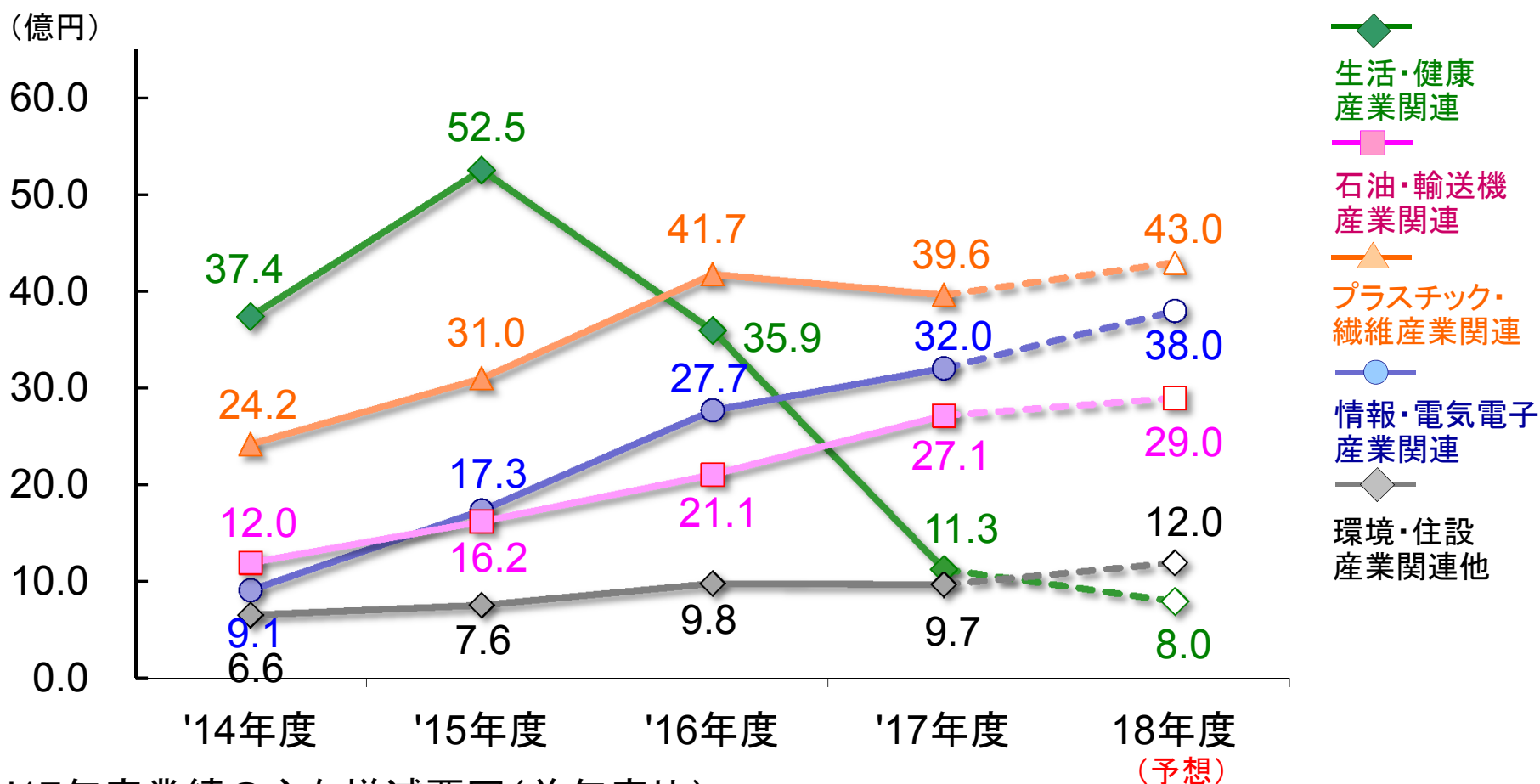
連結産業分野別売上高の推移



'17年度業績の主な増減要因(前年度比)

生活・健康産業	: ヘアケア製品用界面活性剤が好調。加えて、SAPの海外での拡販および新製品の拡販効果により、増収
石油・輸送機産業	: TUBの売り上げは横ばい。一方で、潤滑添加剤が国内外ともに拡販が進み、増収
プラスチック・繊維産業	: 永久帯電防止剤が国内外ともに増加。繊維産業関連では、ガラス繊維用薬剤は低調なもの、炭素繊維用薬剤、合成皮革・弾性繊維用ウレタン樹脂が順調に推移し、増収
情報・電気電子産業	: PEB・トナーバインダーの需要は堅調。加えて、UV・EB硬化樹脂等の好調な需要により、増収
環境・住設産業他	: カチオンモノマーの需要好調。家具・断熱材用PPGの国内向けが好調であり、増収

連結産業分野別営業利益の推移

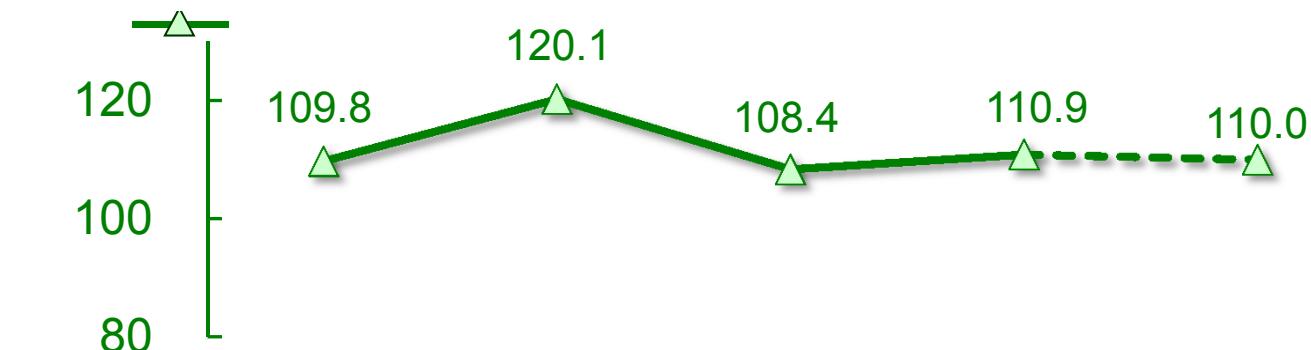


'17年度業績の主な増減要因(前年度比)

生活・健康産業	: SAPの販売数量は増加したものの、売買スプレッドの悪化により大幅減益
石油・輸送機産業	: 原料価格上昇の影響はあったものの、潤滑油添加剤が好調に推移し、増益
プラスチック・繊維産業	: 原料価格上昇による売買スプレッドの縮小により減益
情報・電気電子産業	: 原料価格上昇の影響はあったものの、UV・EB硬化樹脂等が好調に推移し、増益
環境・住設産業他	: 原料価格上昇による売買スプレッドの縮小により微減益

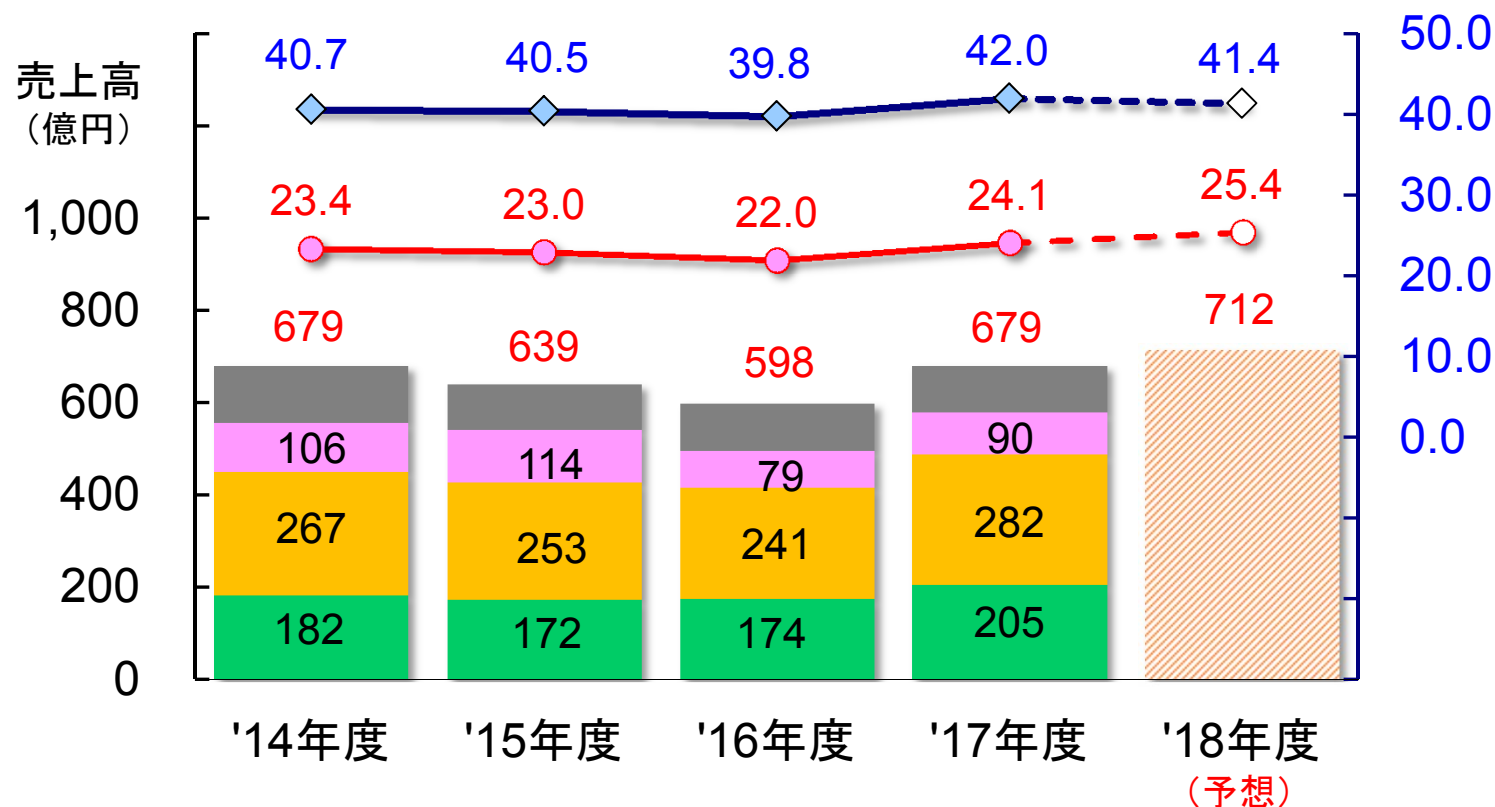
海外売上高の推移

為替(期中平均)(円 / \$)

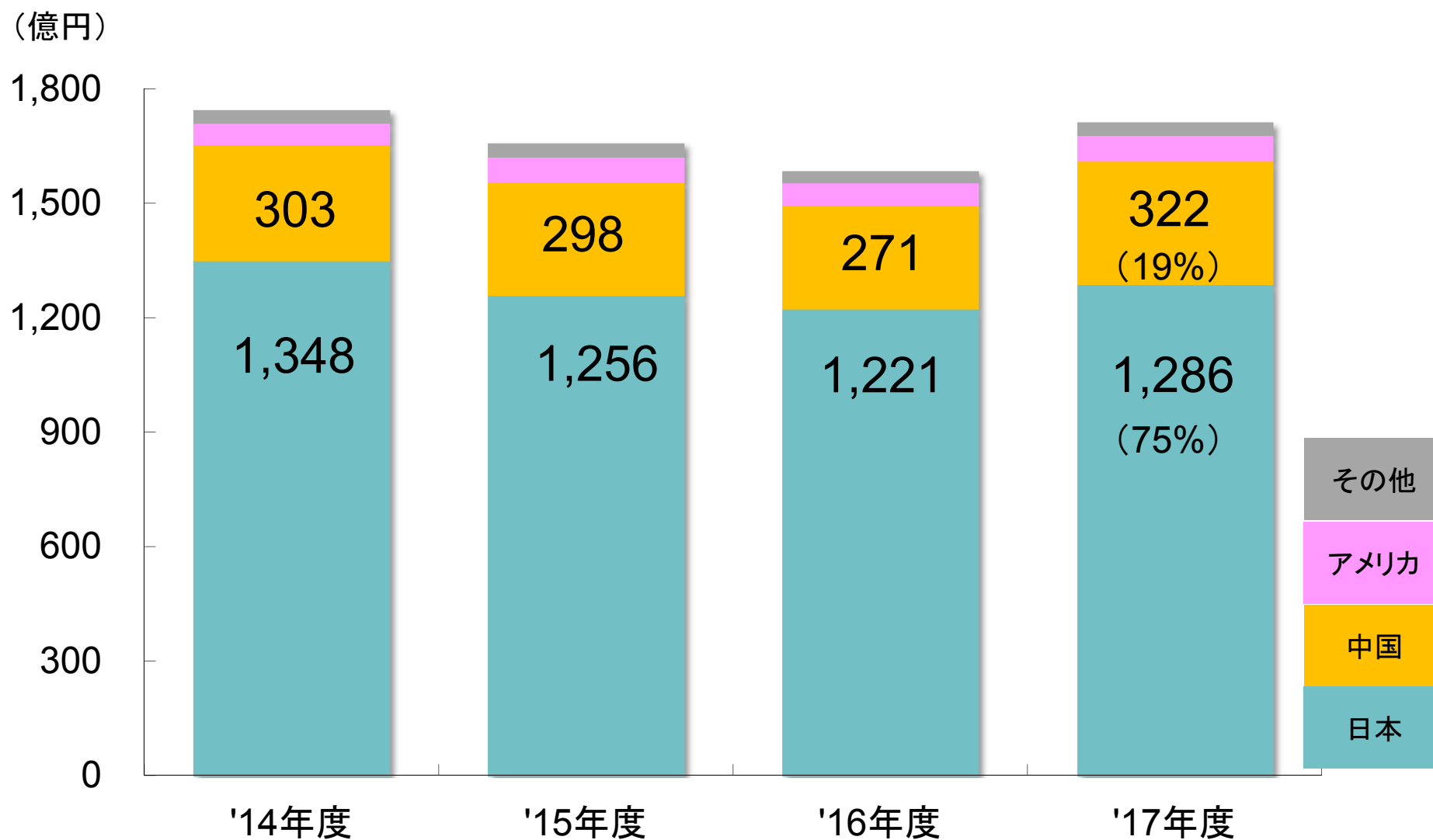


海外売上高比率(%)

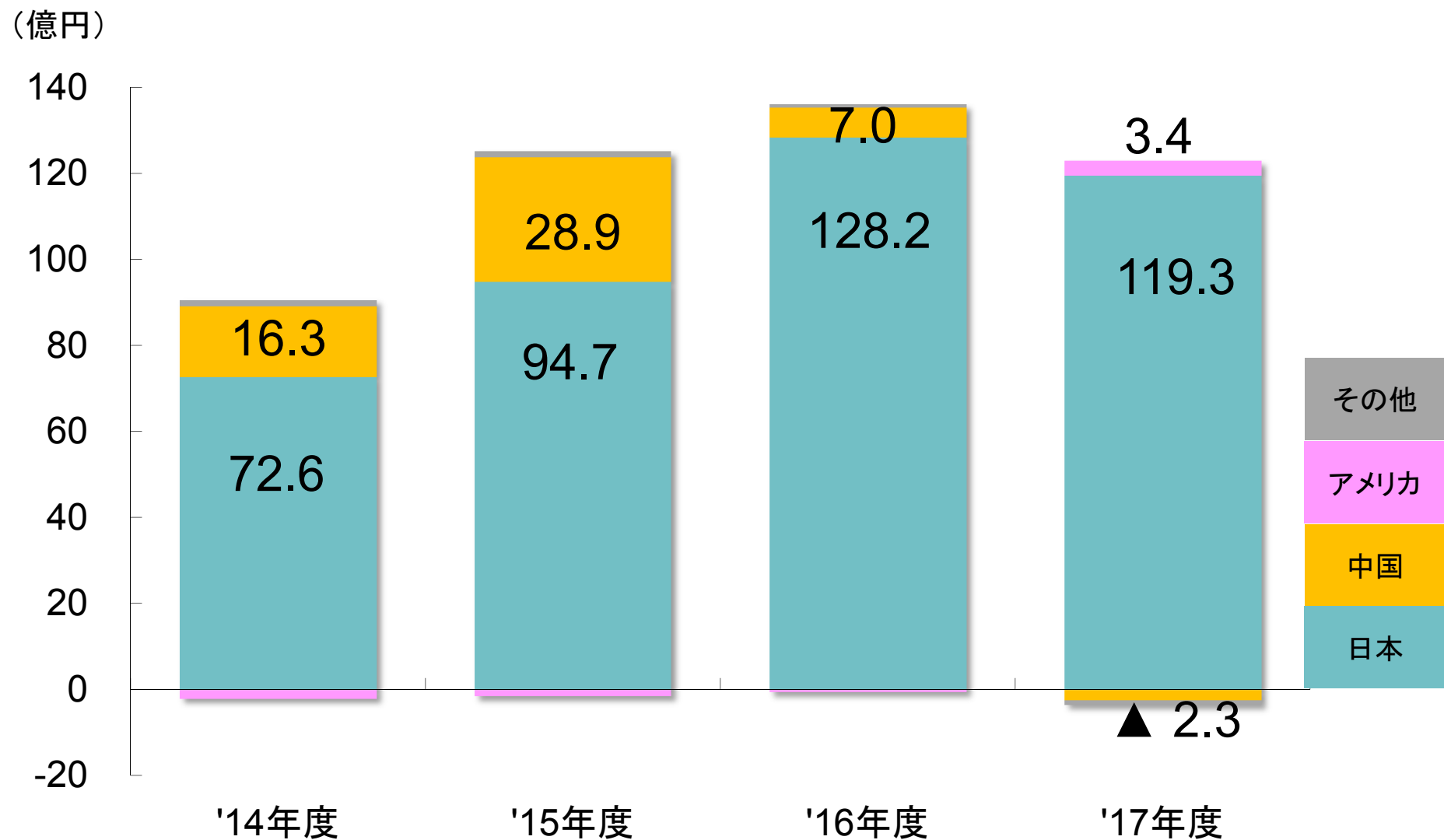
海外生産高比率(%)



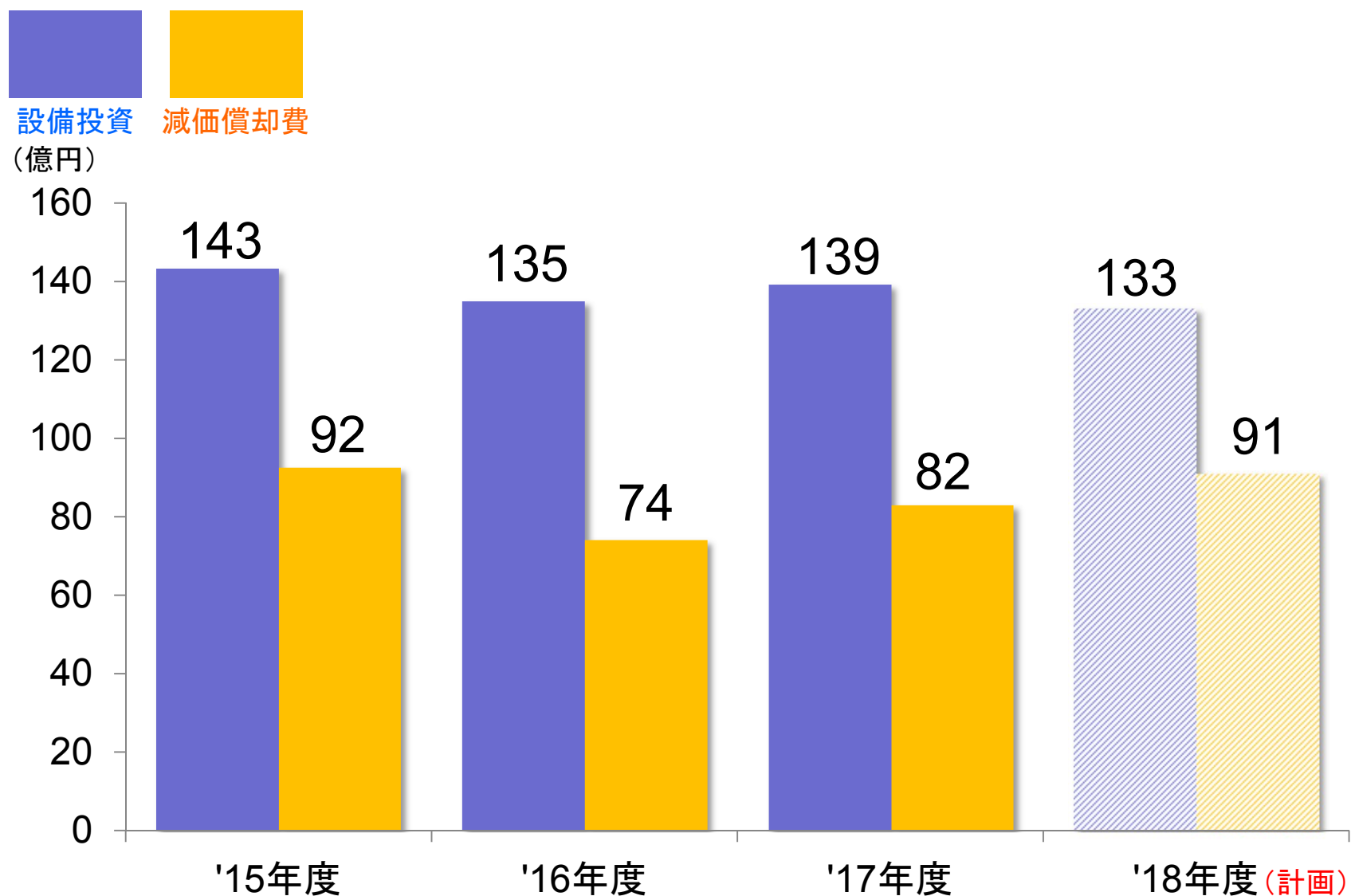
連結所在地別売上高の推移(単純合算)



連結所在地別営業利益の推移(単純合算)



設備投資と減価償却費(連結)



‘16年度より、国内会社の減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

1株当たり配当と配当性向の推移(連結)

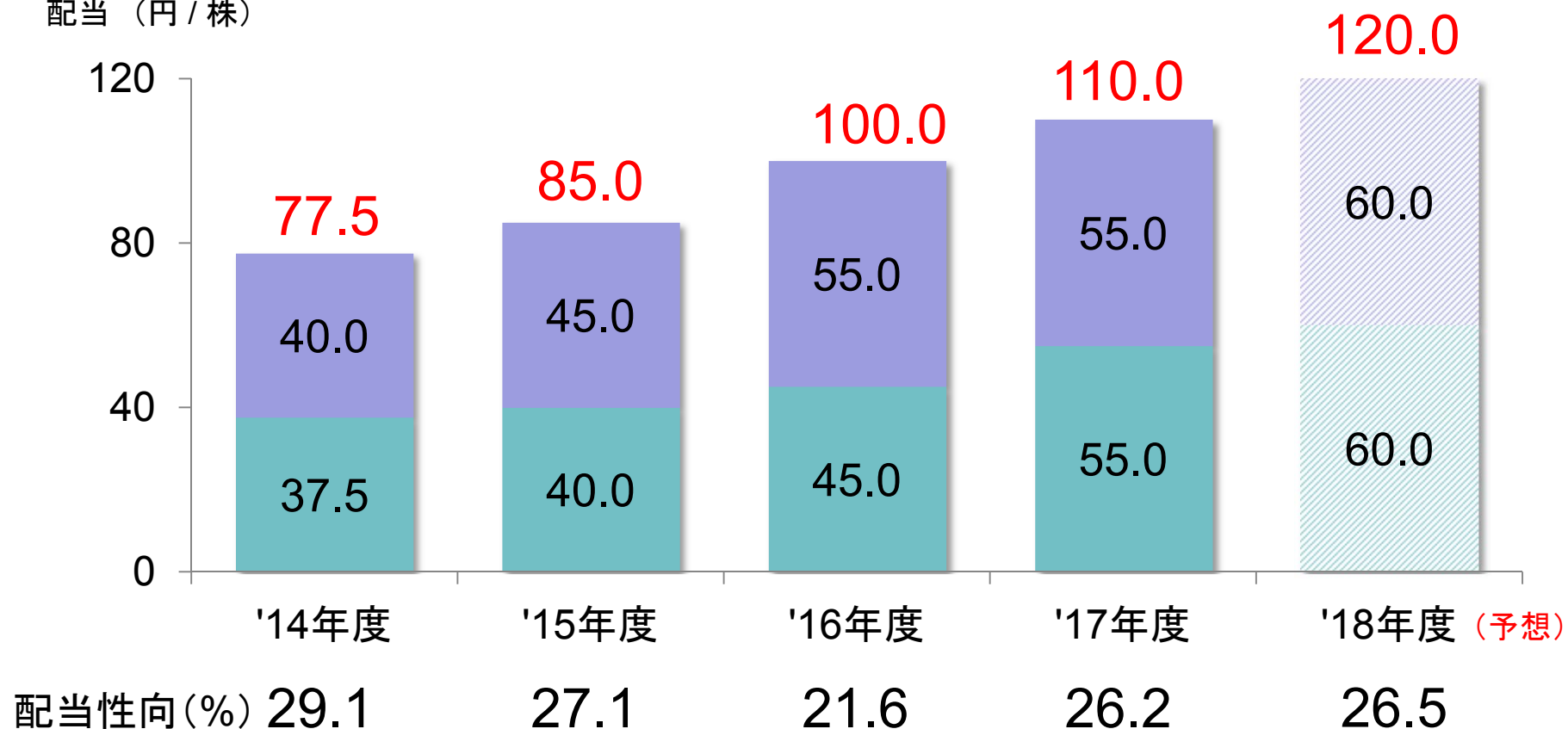
合計



期末
中間

2016年10月1日で普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施しています。
配当金額は、株式併合後の数値に換算して記載しております。

配当 (円 / 株)



第10次中期経営計画

New Sanyo for 2027



2018年5月22日
三洋化成工業株式会社

1. 社是
2. 第9次中期経営計画の振り返り
3. 三洋化成のありたい姿
4. New Sanyo for 2027

1. 社是

社是（経営理念）

企業を通じてよりよい社会を建設しよう

2. 第9次中期経営計画の振り返り

第9次中期経営計画（'15～'18年度）

顧客との協創
グローバル展開



収益構造の転換
持続的成長の実現

【目標（2018年度）】	売上高	2,300億円
	営業利益	215億円
	ROE	10%以上

【実績（2017年度）】	売上高	1,616億円
	営業利益	119億円
	ROE	7.4%

原油価格の変動、SAPビジネスの競争激化など事業環境が策定時から大きく変化する中、事業部制の導入やPTTGCCとの協業プロジェクト発足など、経営体制も大きく変化。
第9次中計の最終年度ではあるが、新たな中計をスタート。

3. 三洋化成のありたい姿



10年後のありたい姿を見据え、経営リソースを再配分する。

三洋化成のありたい姿

全従業員が誇りを持ち、働きがいを感じるユニークで
グローバルな高収益企業に成長し、社会に貢献。

10年後を見据えた、直近3カ年（2018～2020年度）の
具体的方策（第10次中期経営計画）

New Sanyo for 2027

3. 三洋化成のありたい姿



New Sanyo for 2027

期 間：2018～2020年度
スローガン：「変える。」

10年後のありたい姿に向け、
変える3年間

2020年度（目標）

連結売上高	1,800億円
連結営業利益	180億円
連結営業利益率	10%
連結ROE	10%

【基本理念】 様々な界面等で活躍する機能化学品を通じて、
社会に貢献するユニークなグローバル企業

New Sanyo for 2027

2020年度

2021年度以降

2027年度

2027年度（ありたい姿）

連結売上高	2,500億円
連結営業利益	350億円
連結営業利益率	14%
連結ROE	12%

「変える。」の先へ

第10次は10年後への第一歩

全従業員が誇りを持ち、働きがいを感じる
ユニークでグローバルな高収益企業に成長し、
社会に貢献

ありたい姿へ

New Sanyo for 2027

ありたい姿を実現するため、最初の3年間で社内から変えていく

変える。

New Sanyo for 2027

- 高付加価値品へのシフト
- 顧客目線でスピードアップ
- 慣習（ムダ・ムリ・ムラ）の排除
- 柔軟で多様な働き方・考え方
- 風通しの良い風土醸成

4 – 1 . New Sanyo for 2027

基本理念

様々な界面等で活躍する機能化学品を通じて、社会に貢献する
ユニークなグローバル企業

強みの源泉

- 界面活性制御技術を中心とした幅広い技術知見
- 顧客価値・ニーズを機能に、機能を物性に、物性を組成・合成プロセスにスピーディーに翻訳
- 顧客に密着、タイムリーなソリューション提案
- チャレンジを奨励する企業風土
- 社会的責任を果たす信頼される会社

事業領域

- 様々な界面等で活躍する機能化学品事業
- 新規事業として、エネルギー・エレクトロニクス分野、バイオ・メディカル分野を指向

4 - 2 . 経営戦略

基盤事業強化

経営リソースの注力事業へのシフト
コスト構造改革による収益力強化

新規事業創出

エネルギー・エレクトロニクス分野
バイオ・メディカル分野を指向

海外展開の加速

国内で築いた
強い製品の海外拡販

将来への弾込め

コア技術の強化・融合および
マーケティング力強化による顧客への
ソリューション提案

パートナーシップ構築

他社との協業による
オープンイノベーションの加速

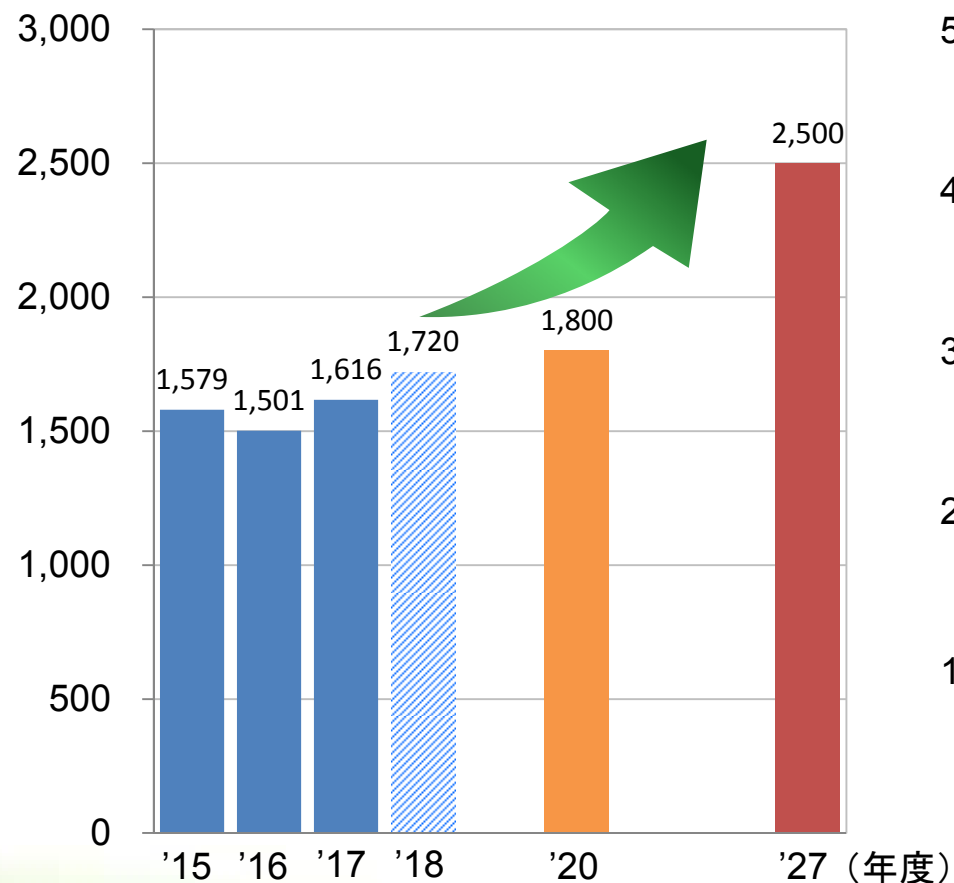
三洋化成
グループの
強み

- 三洋化成の強みを発揮できる事業・取引へ、経営リソースをシフト
- 界面活性制御技術を中心としたコアコンピタンスを深化。三洋化成ならではの価値ある機能・ソリューションを顧客へ提供

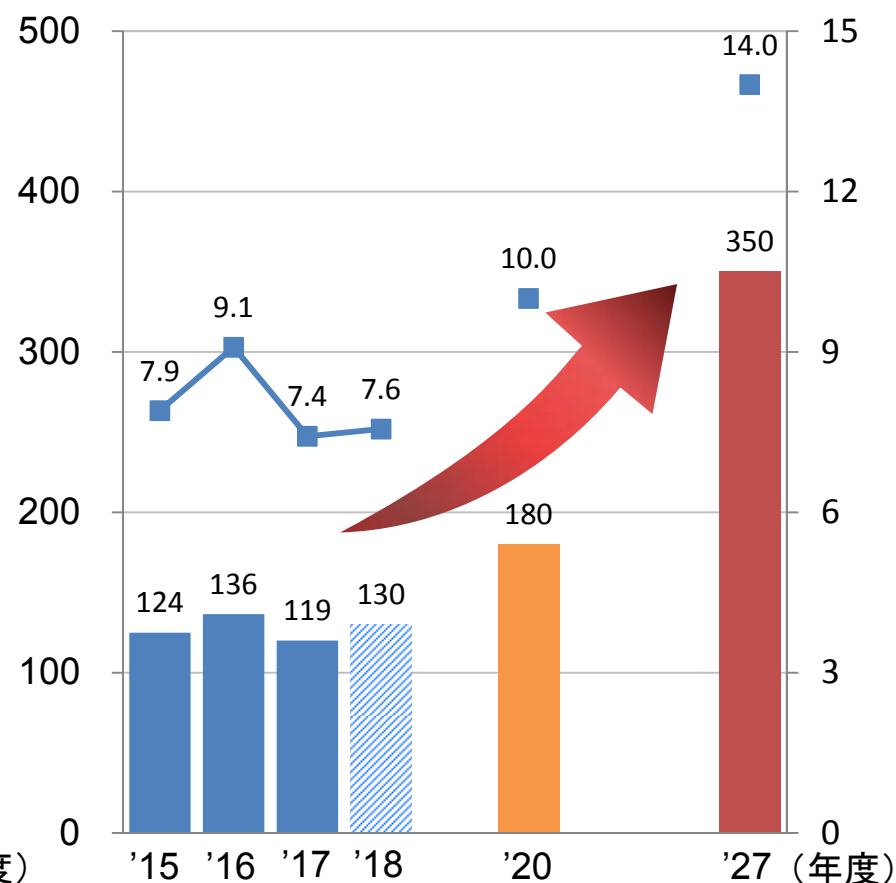
4-3. 数値目標

＜前提条件＞ 国産ナフサ価格 47千円/KL 為替（米ドル） 110円/ドル

売上高(億円)



営業利益(億円)



2020年度

連結売上高1,800億円、営業利益180億円（同率10%）、ROE10%

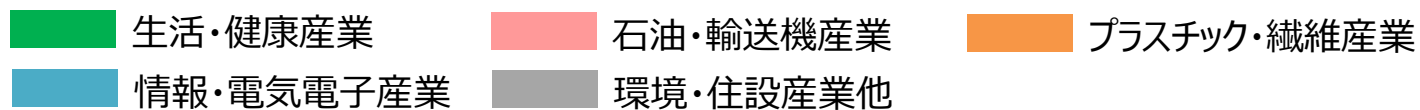
4－3．数値目標＜セグメント別＞



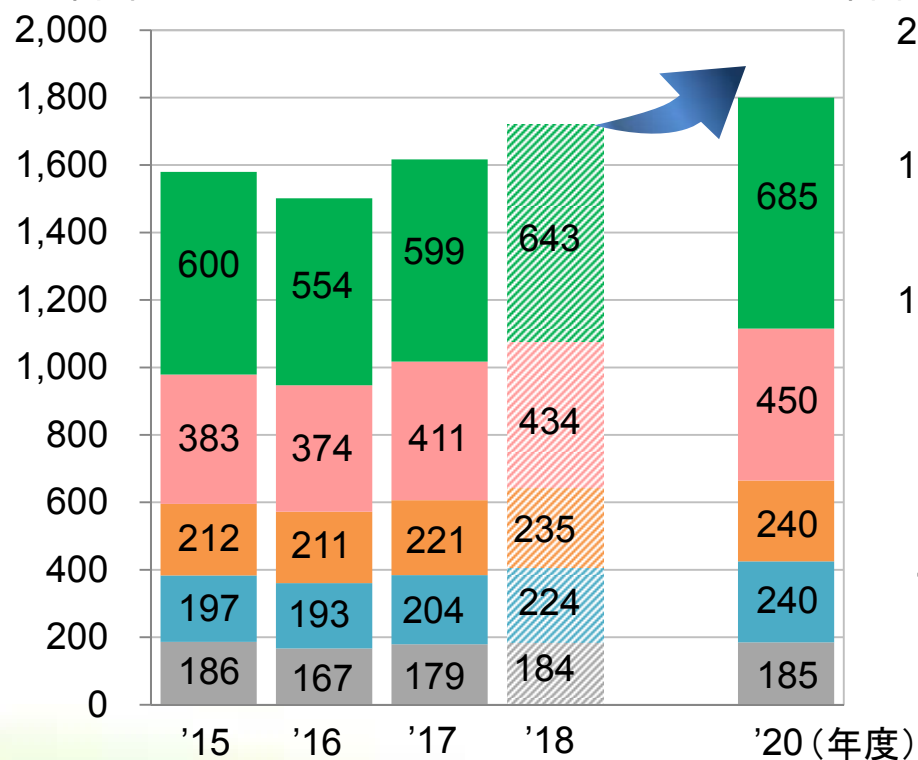
(億円)

	売上高			営業利益		
	2017年度	2020年度	増減	2017年度	2020年度	増減
生活・健康 産業関連	599	685	+85	11	26	+14
石油・輸送機 産業関連	411	450	+38	27	45	+17
プラスチック・繊維 産業関連	221	240	+18	39	50	+10
情報・電気電子 産業関連	204	240	+35	32	47	+14
環境・住設 産業関連、他	179	185	+5	9	12	+2
合計	1,616	1,800	+183	119	180	+60

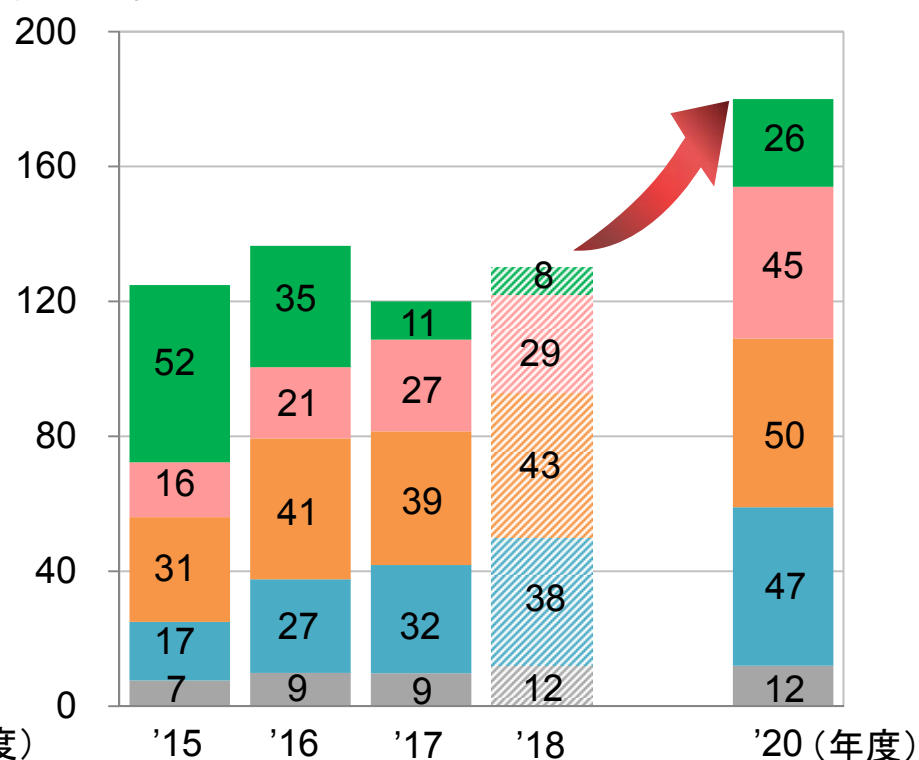
4－3．数値目標<セグメント別>



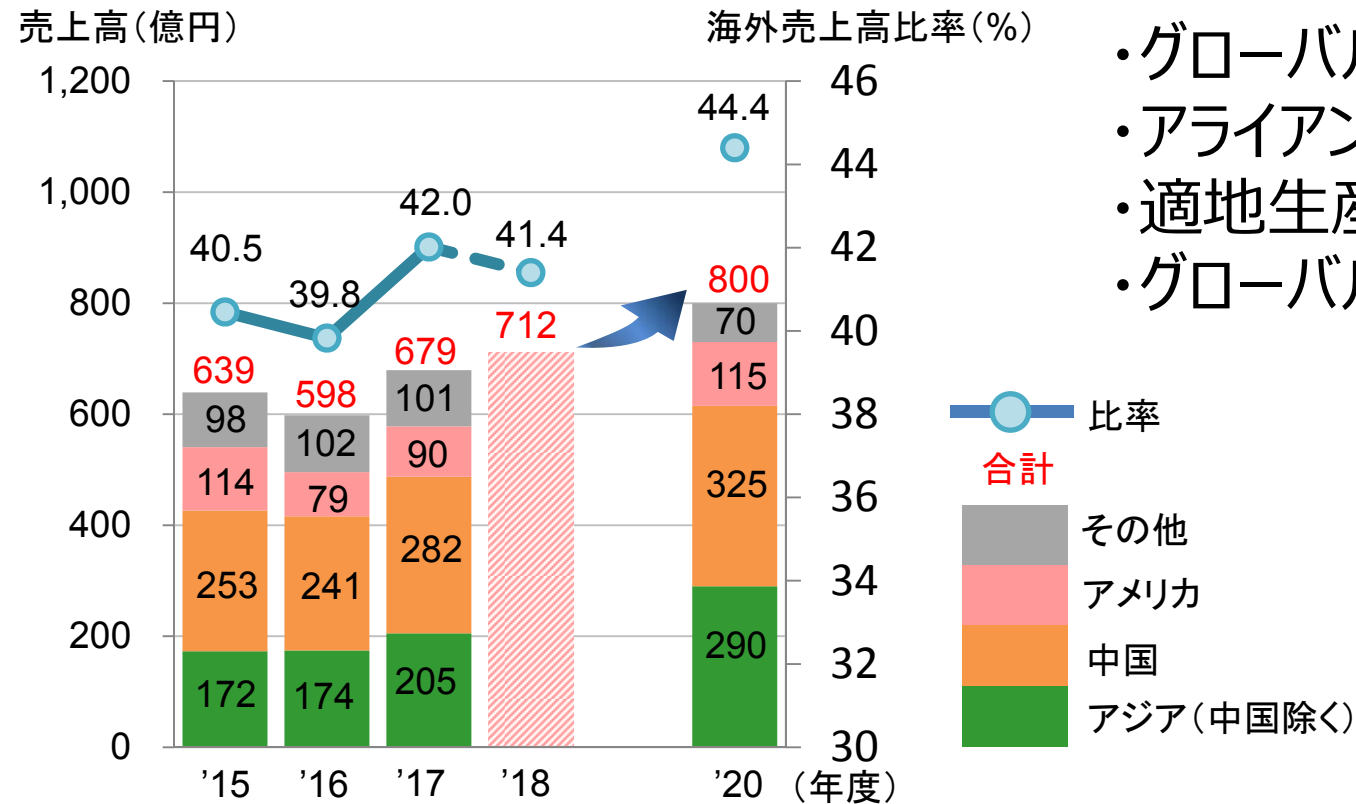
売上高(億円)



営業利益(億円)



4 - 3. 数値目標<海外売上高>



- ・グローバルビジネスの強化
- ・アライアンス戦略の実行
- ・適地生産
- ・グローバル人材の育成

4－4．投資計画および配当方針



研究開発投資

基盤事業の強化、新規事業の創出に向け、約180億円の研究開発投資

設備投資

設備投資額（累計）：総額350億円を予定

- 潤滑油添加剤、永久帯電防止剤など、当社の強みが発揮できる事業へと投資
- プロダクトミックスの変化に伴い、既存設備の効率的活用

配当方針

当社グループの収益力向上により、将来に向かっての企業基盤強化を図りながら、株主の皆さまへの利益還元を充実させていくことが経営の重要課題
連結配当性向30%以上を目処に、安定配当を実施する

4－5．事業戦略

当社の強みをより発揮できる事業・取引へ、経営リソースを大胆にシフトするとともに、さらなる将来を見据えた新規事業へも積極的にリソースを投入

【既存事業】

(1) さらなる成長を目指し、新たな弾込めを行う事業
(界面活性剤、潤滑油添加剤、樹脂添加剤など)

- ・市場全体を見据えたマーケティング
- ・ソリューション提案型の開発テーマ立案
- ・コア技術の組合せによる開発実行
- ・研究ステージゲートと連携した設備設計
- ・現地代理店や海外テクニカルラボを活用したグローバル展開

(2) 経営環境の変化に伴い、スピード感を持って変化させている事業

- | | |
|-------|-----------------------------|
| PPG事業 | ・高付加価値製品へのシフト |
| | ・事業のコンパクト化 |
| | ・GCポリオールの立ち上げ（グローバルでの適地生産化） |
| SAP事業 | ・10年先を見据え、この3年間であらゆる可能性を検討 |

【新規事業】

近い将来、新たな事業領域を形成することが期待できるアイテムに、積極的に経営リソースを投入

- (1) エネルギー・エレクトロニクス関連事業
 - ・新型リチウムイオン2次電池
 - ・車載用エレクトロニクス材料
 - など
- (2) バイオ・メディカル関連事業
 - ・新規医薬品（DDS）関連素材
 - ・シルクエラスチン
 - など
- (3) その他事業
 - ・スキンケア用化粧品素材の開発
 - ・アグリ・ニュートリション分野におけるトータルプラットフォーム構築

4-6. セグメント別中期事業戦略

生活・健康産業関連

海外
展開

基盤
強化

新規
事業

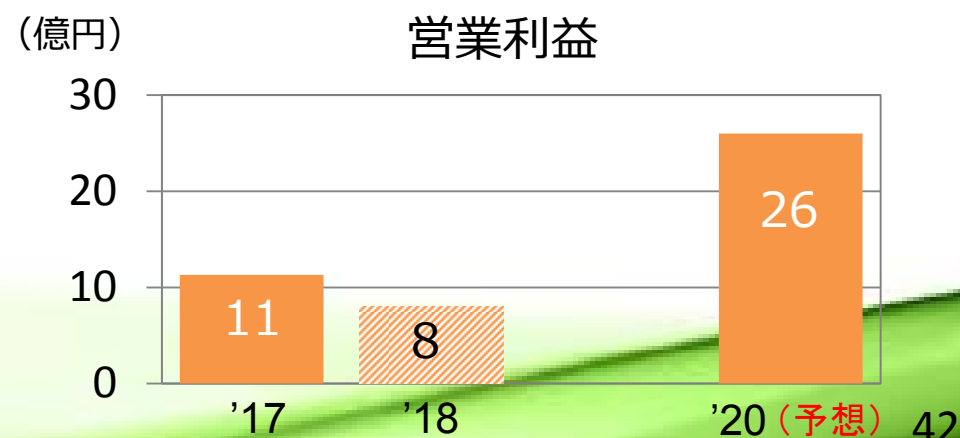
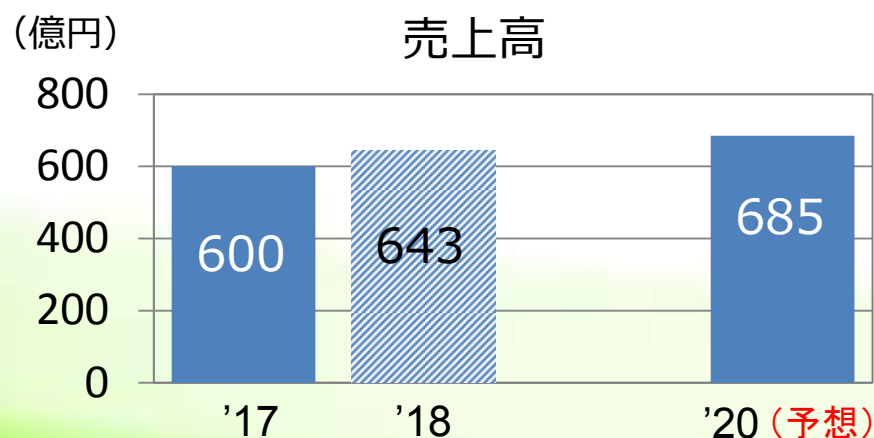
他社
協業

生活産業

- ・国内市場で築いた活性剤関連技術によるグローバル展開
- ・スキンケア市場での基盤強化に向けた弾込め

健康産業

- ・SAP事業では、リソース再配分やプロセス改善、コストダウンの徹底による利益性改善
- ・バイオ関連事業では、新規医薬品関連素材の開発など、将来への弾込め



4－6．セグメント別中期事業戦略

石油・輸送機産業関連

潤滑油添加剤事業

- ・海外事業展開加速に向けた準備期間
- ・2020年度までに設備投資を実行し、事業基盤を整備

PPG事業

- ・高付加価値製品へのシフト、およびリソースの再配分による事業のコンパクト化
- ・GCポリオール立ち上げによるグローバルでの適地生産推進

TUB事業

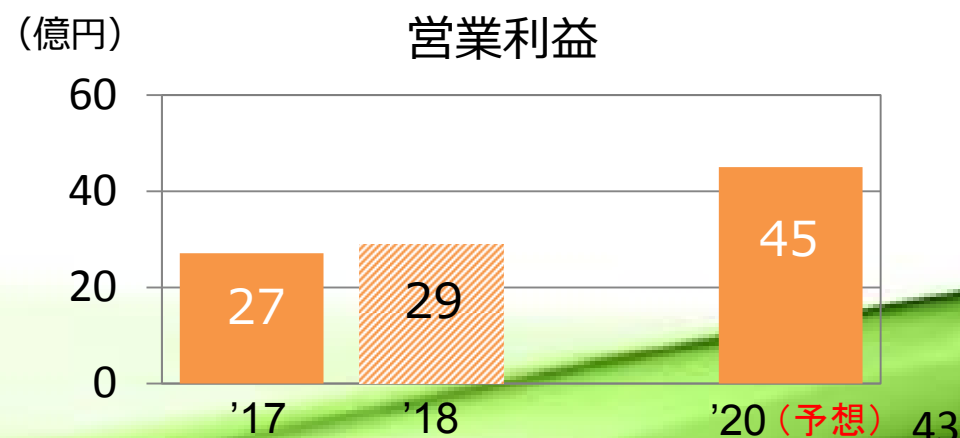
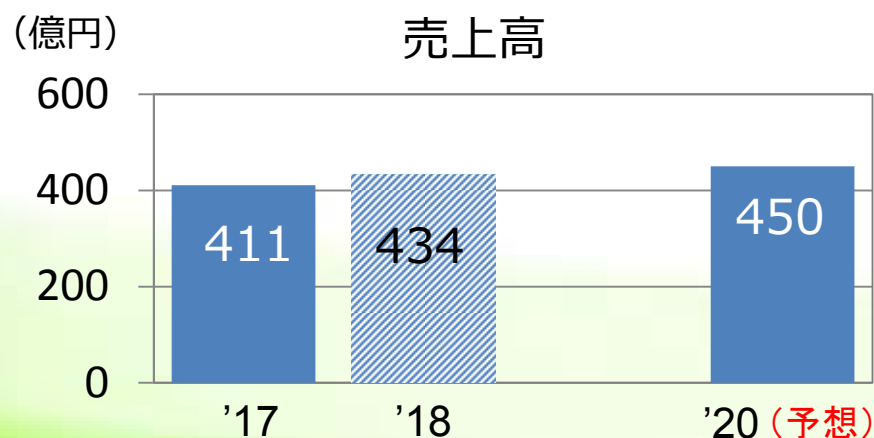
- ・さらなる拡販とコストダウンの推進

海外
展開

基盤
強化

新規
事業

他社
協業



4-6. セグメント別中期事業戦略

プラスチック・繊維産業関連

プラスチック産業

- ・顧客に密着した製品開発とグローバル事業展開
- ・ニッチ市場での着実なビジネス拡大を図る

繊維産業

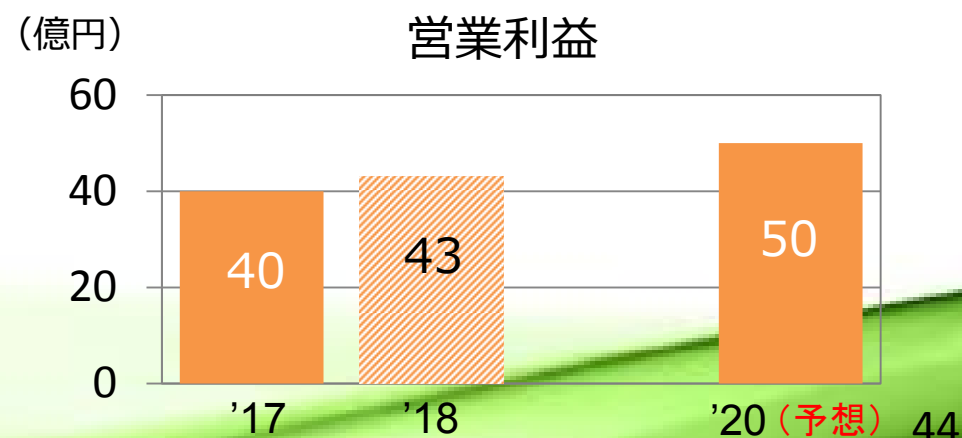
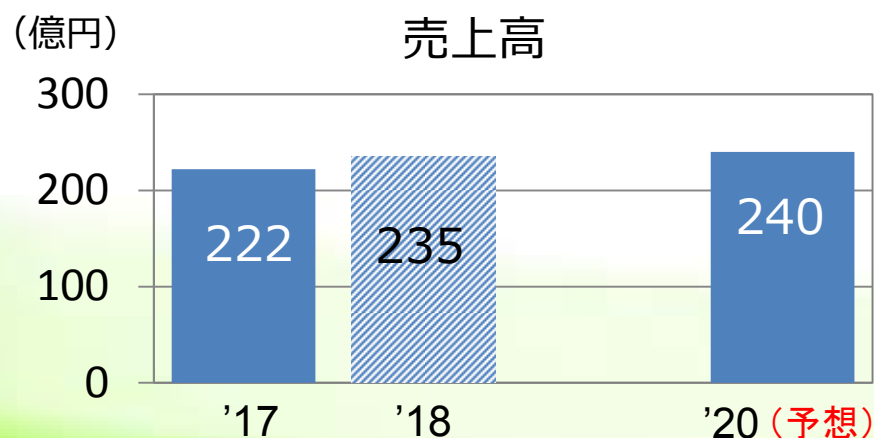
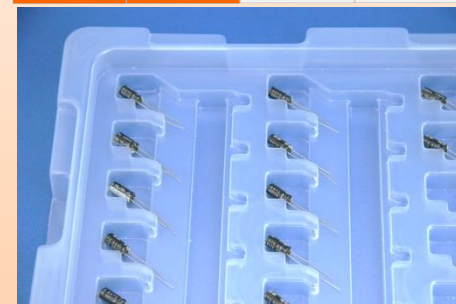
- ・グローバル展開の加速
- ・ソリューション提案による周辺用途への展開

海外
展開

基盤
強化

新規
事業

他社
協業



4-6. セグメント別中期事業戦略

情報・電気電子産業関連

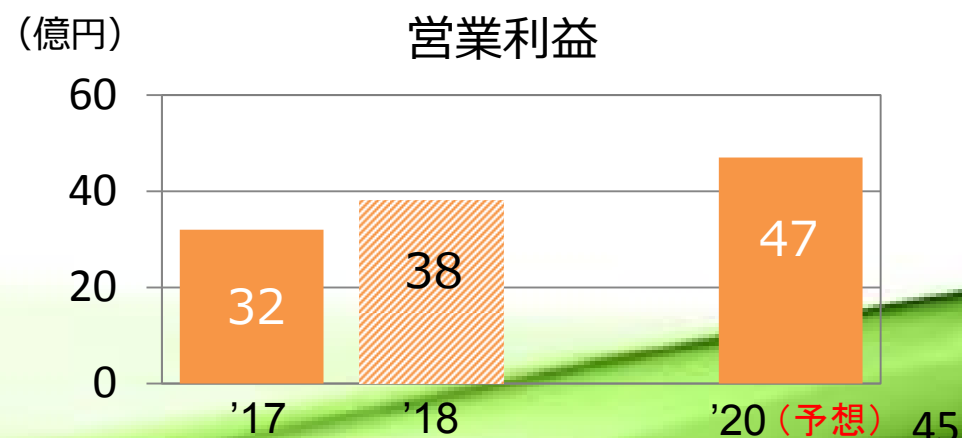
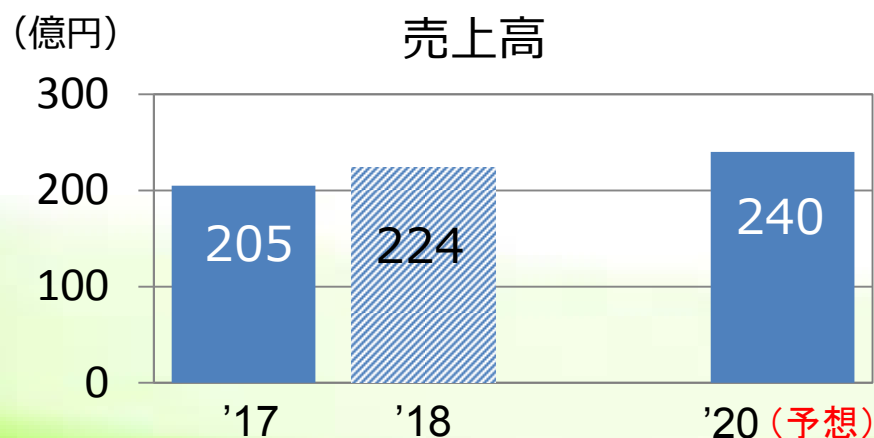
情報産業

- ・顧客密着による信頼関係の深化
- ・コスト競争力の強化

電気電子産業

- ・顧客密着による新規市場開拓を図る
- ・エネルギー・エレクトロニクス分野での新規アイテムに重点的にリソース投入し、開発を加速させる

海外展開 基盤強化 新規事業 他社協業



4－6．セグメント別中期事業戦略

環境・住設産業関連他

海外
展開

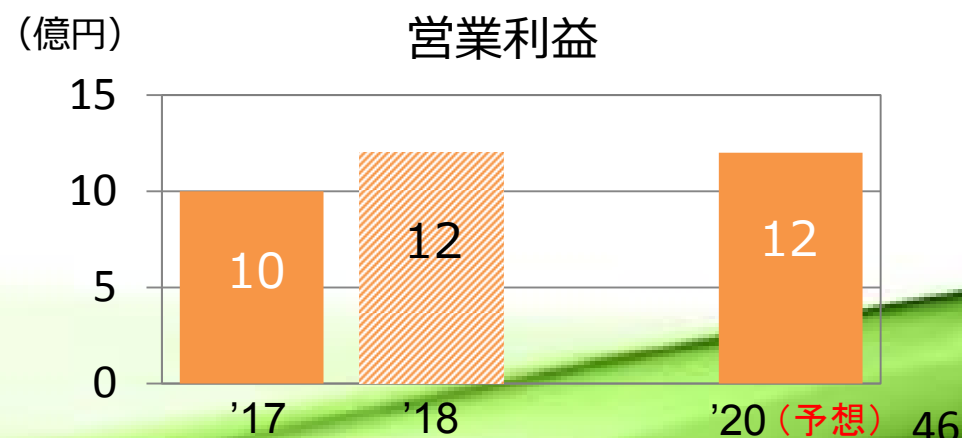
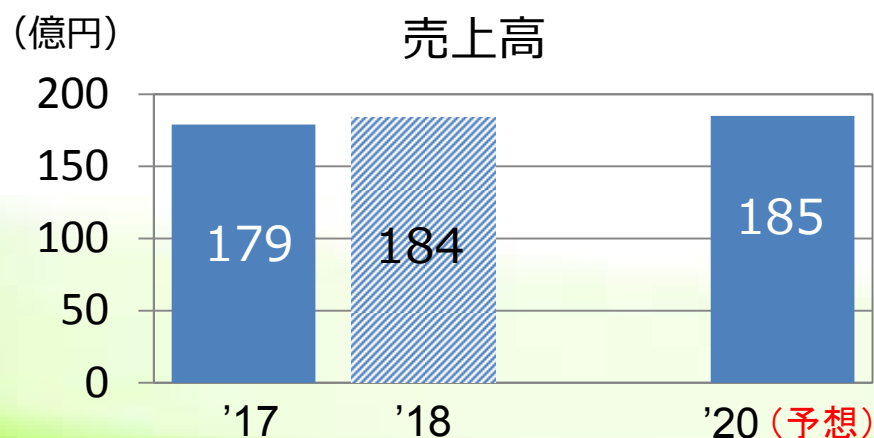
基盤
強化

新規
事業

他社
協業

環境・住設産業

- ・アグリ・ニュートリション分野におけるトータルプラットフォーム構築
- ・PPG事業では、高付加価値製品へのシフト、およびリソースの再配分による事業のコンパクト化
- ・GCポリオール立ち上げによるグローバル適地生産推進



4－7．事業戦略実行に向けた構造改革

(1)利益性の高い新製品開発の仕組み構築

- ・営業と研究が一体となったマーケティング力の強化
- ・複数のコア技術を組合せるソリューション提案力の強化

(2)生産技術力の強化

- ・研究ステージゲートとの連携
- ・人材の計画的育成と最適配置

(3)経営リソースの再配分を推進するための人事制度改革

- ・ローテーション・キャリアパス制度構築による人材育成の強化

(4)グローバル化推進

- ・アライアンス戦略・国際戦略の企画実行力強化
- ・海外事業における収益力の向上
- ・グループスタッフ育成

4－7．事業戦略実行に向けた構造改革

(5)"人"中心の経営の深化

- ・働き方改革
- ・ダイバーシティの推進

(“人”中心の経営:従業員一人ひとりが会社とともに成長し、働きがいや幸せを実現するために、自ら会社の制度や手段を使って課題にチャレンジすることを促進する経営システム)

6)全社横断型プロジェクトの設置

- ・働き方改革プロジェクトを設置し、改革を加速
- ・界面活性剤プロジェクトにより、界面活性剤事業をさらなる高収益事業へ
- ・グローバル購買プロジェクトにより、グローバル情報に基づく最適な原料調達を実現

より良い、『もっと』を目指して

三洋化成グループは、安全で安心できる
豊かな社会をのぞむ人々の多様なニーズに応えるべく、
10年後（2027年度）の目標実現に向けて
働き方や企業風土を**変え**ます。

従業員一人ひとりが、会社には誇りを持ち、
働きがいを感じ、会社とともに自己成長できる

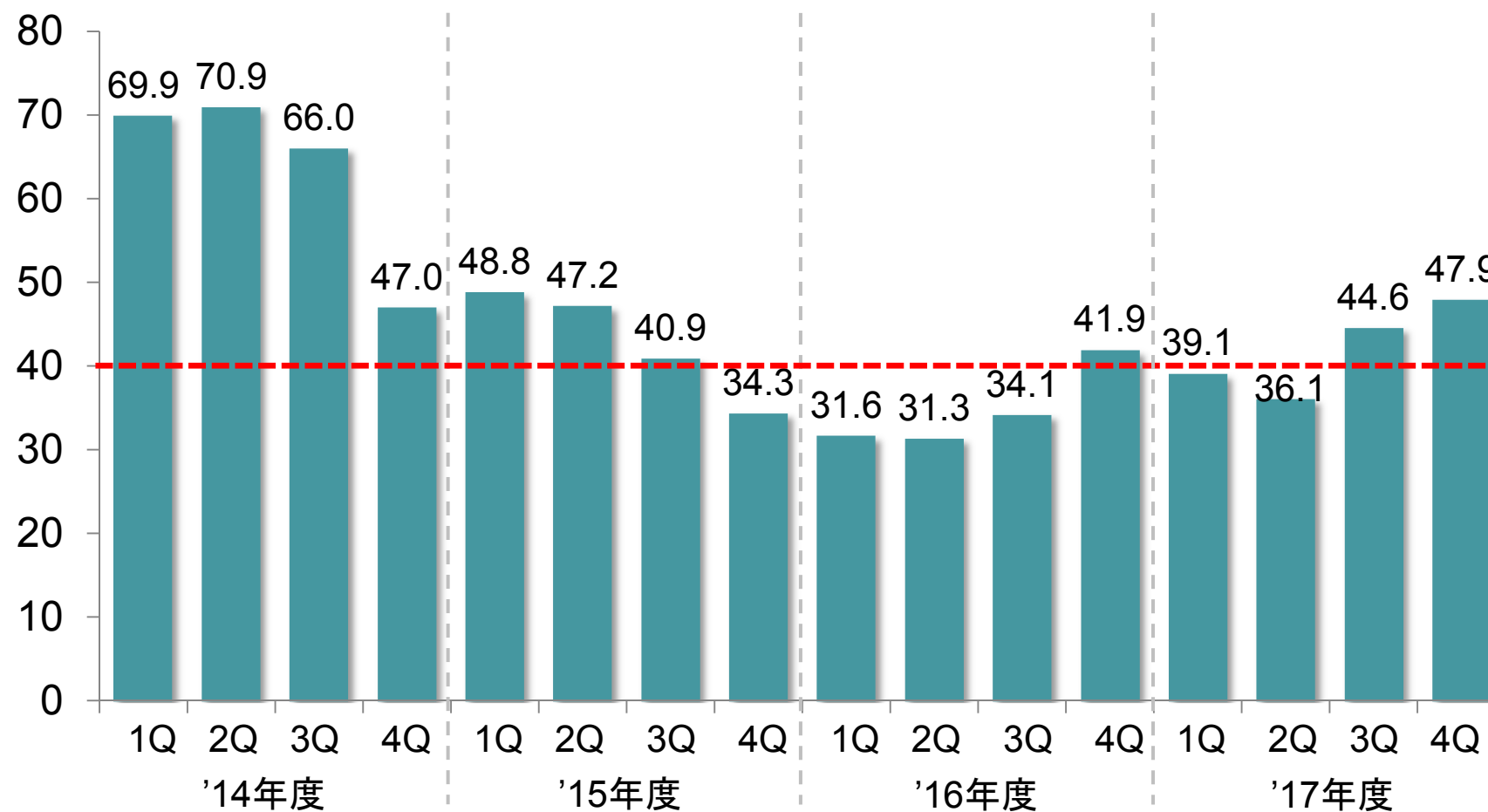
会社を**変える**ことで、より良い、『もっと』を創造し、
社会に貢献し続けます。

**グローバルに、ユニークな優良企業
グループの実現に向かって。**

参考資料

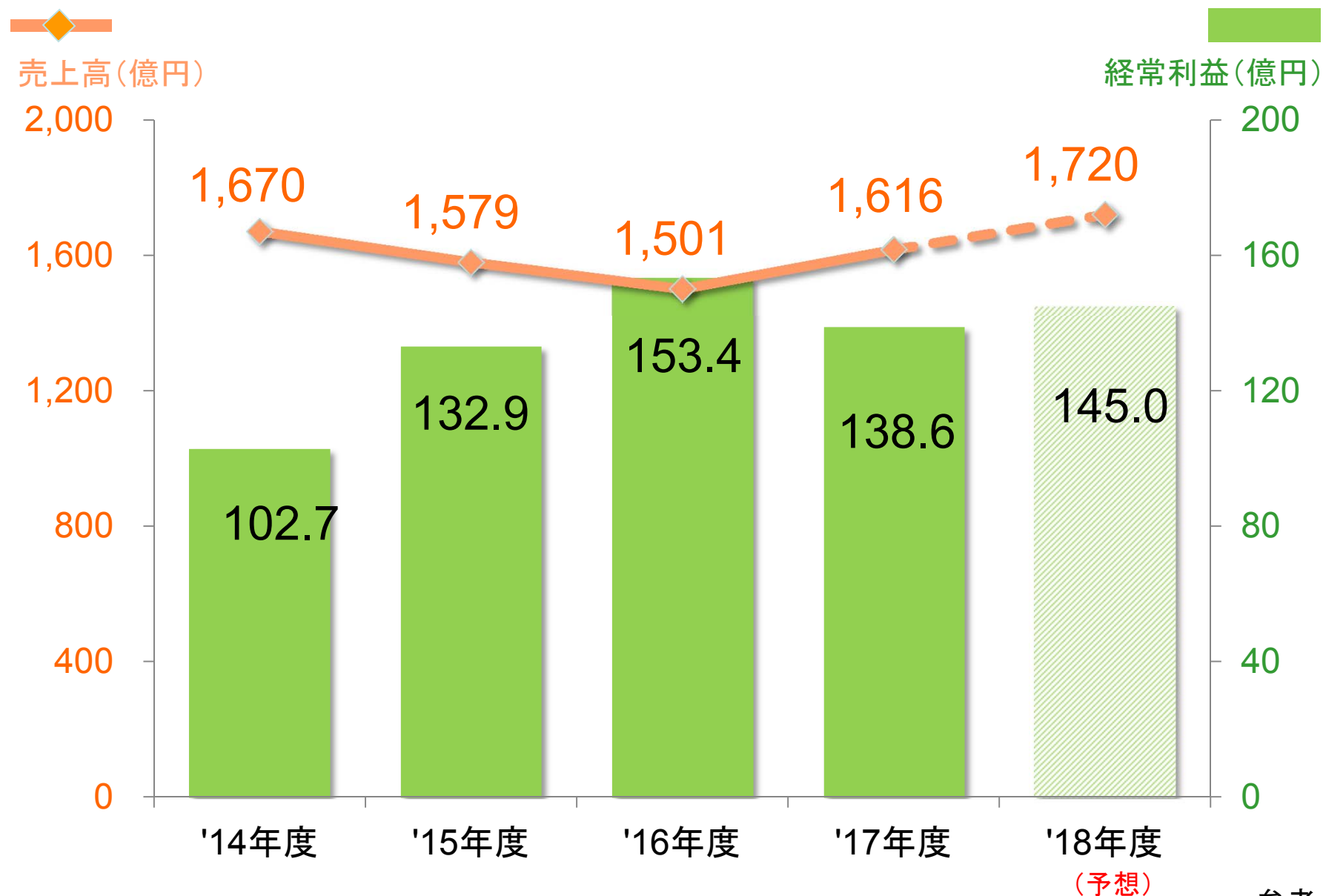
国産ナフサ価格の推移

国産ナフサ価格
(千円/kl)

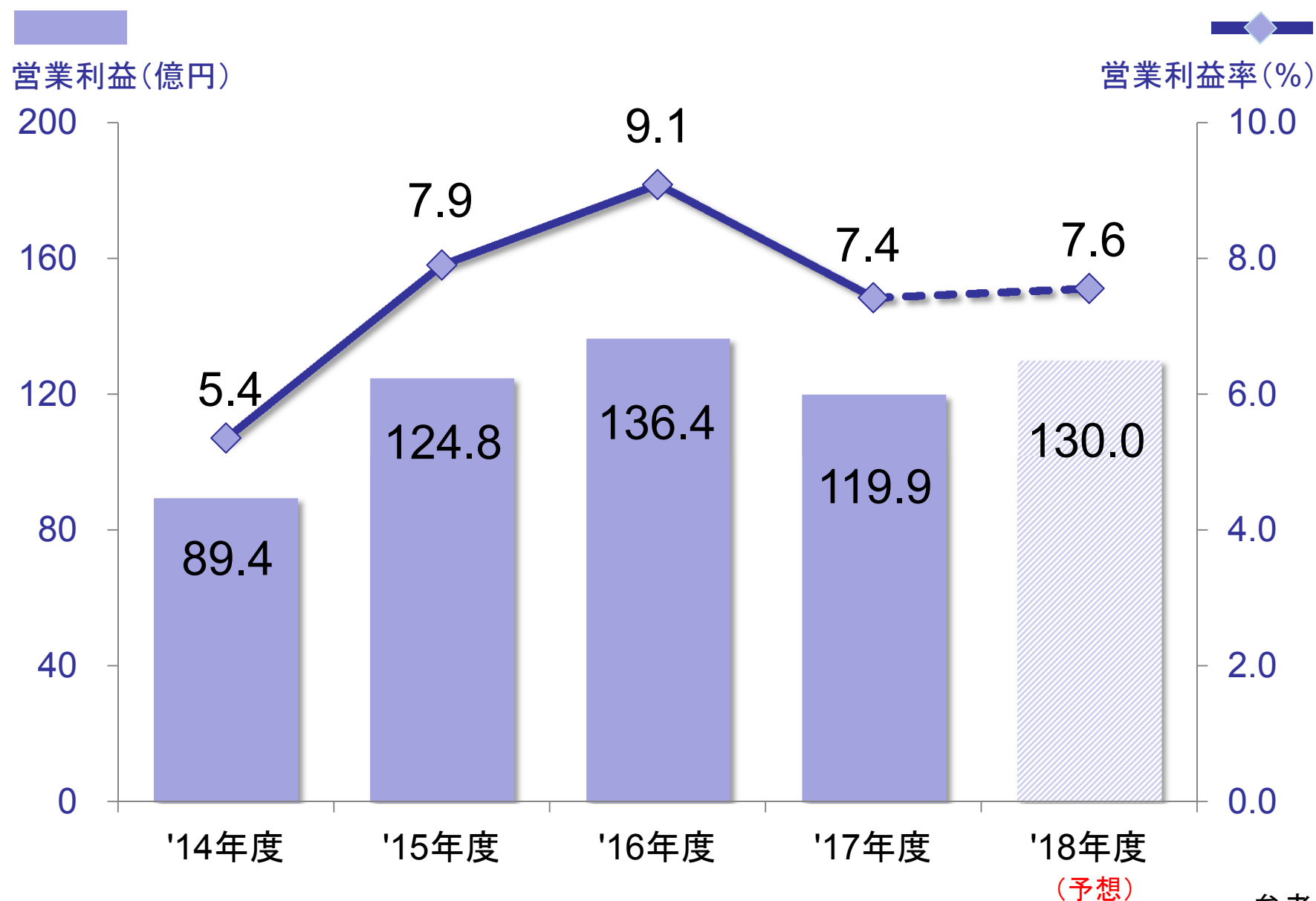


(新聞各紙より、当社調べ)

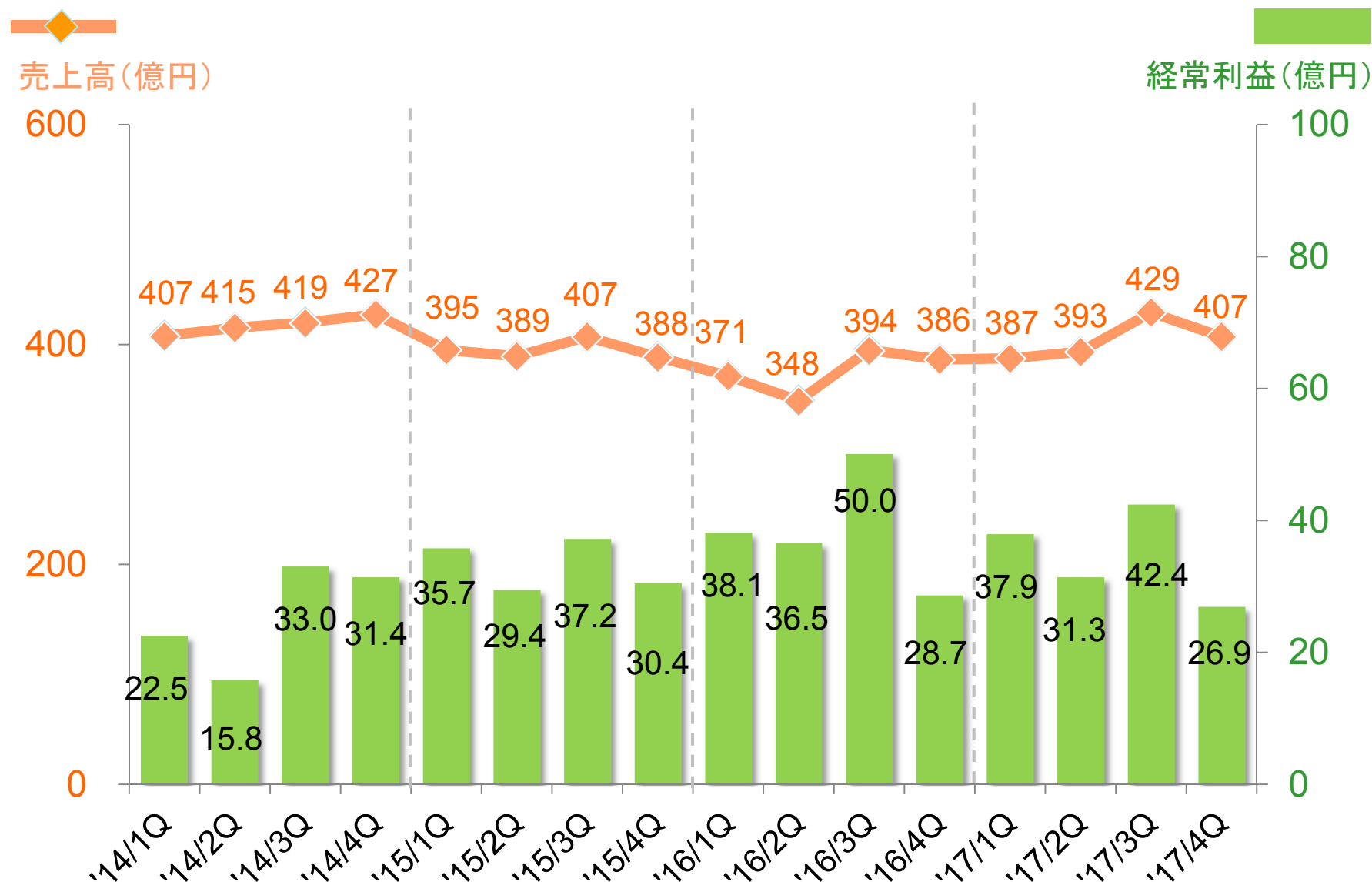
連結業績の推移(年間)



連結営業利益(同率)の推移(年間)

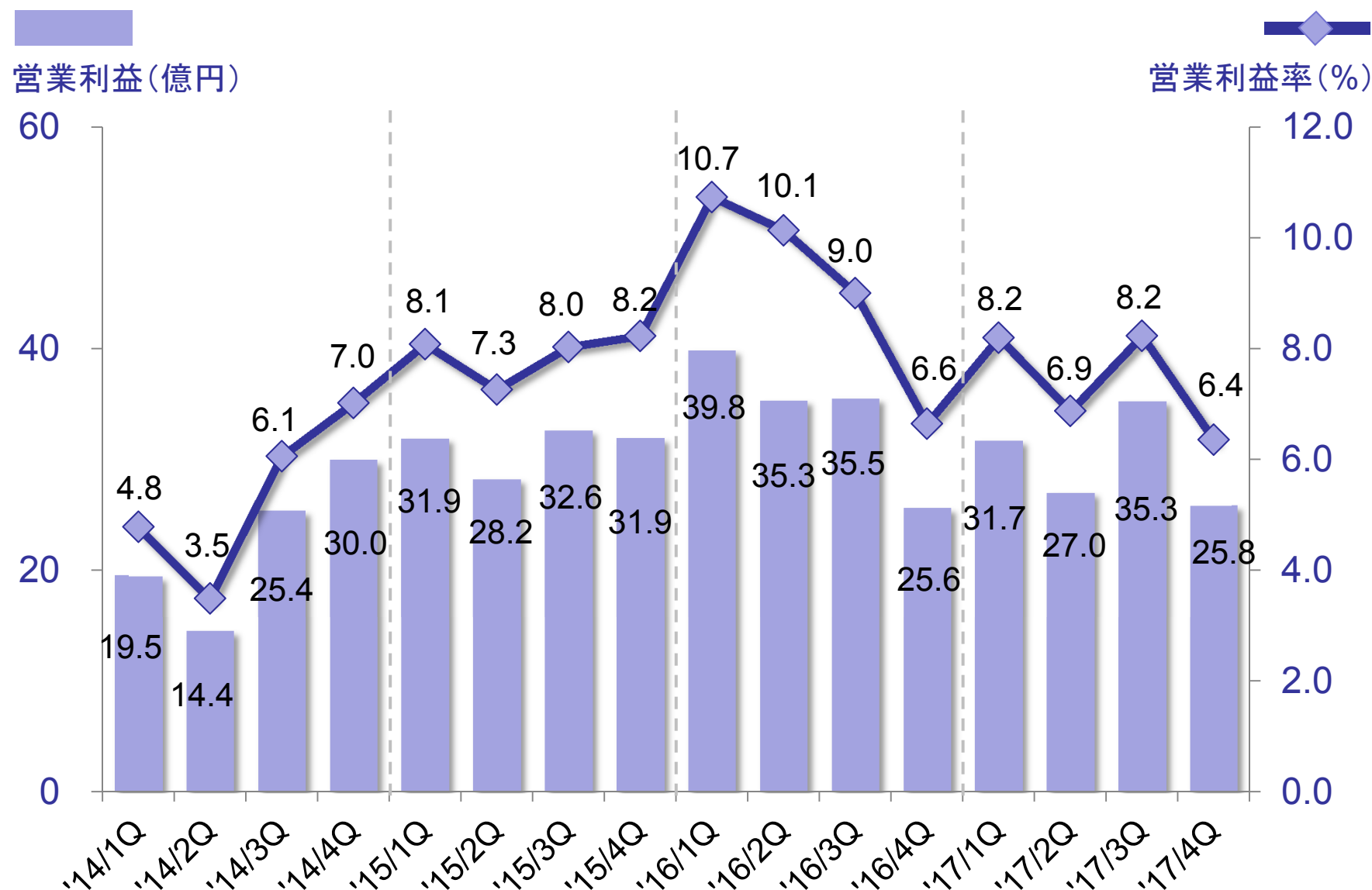


連結業績の推移(四半期)



‘16年度より、国内会社の減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

連結営業利益(同率)の推移(四半期)

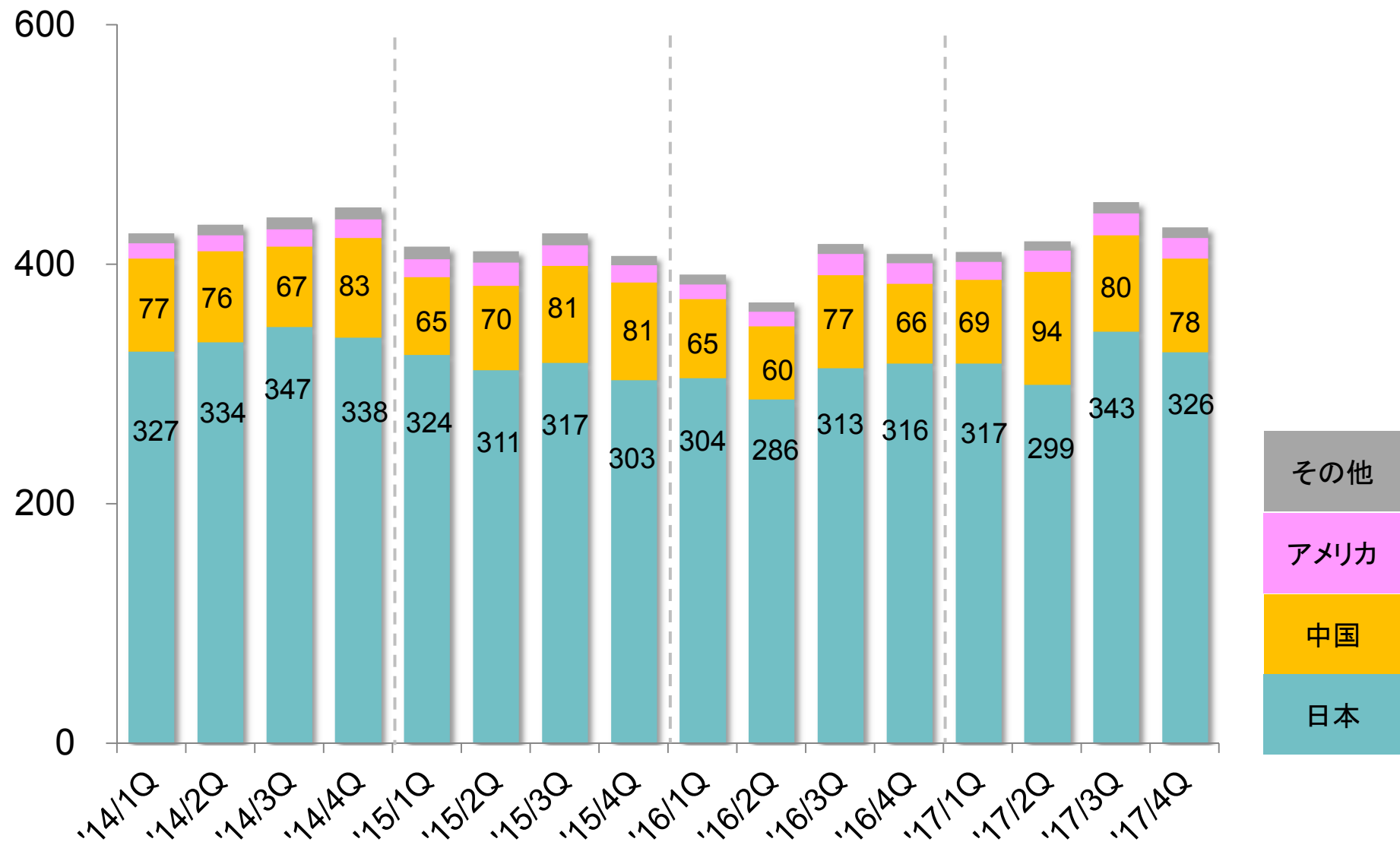


‘16年度より、国内会社の減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

参考-5

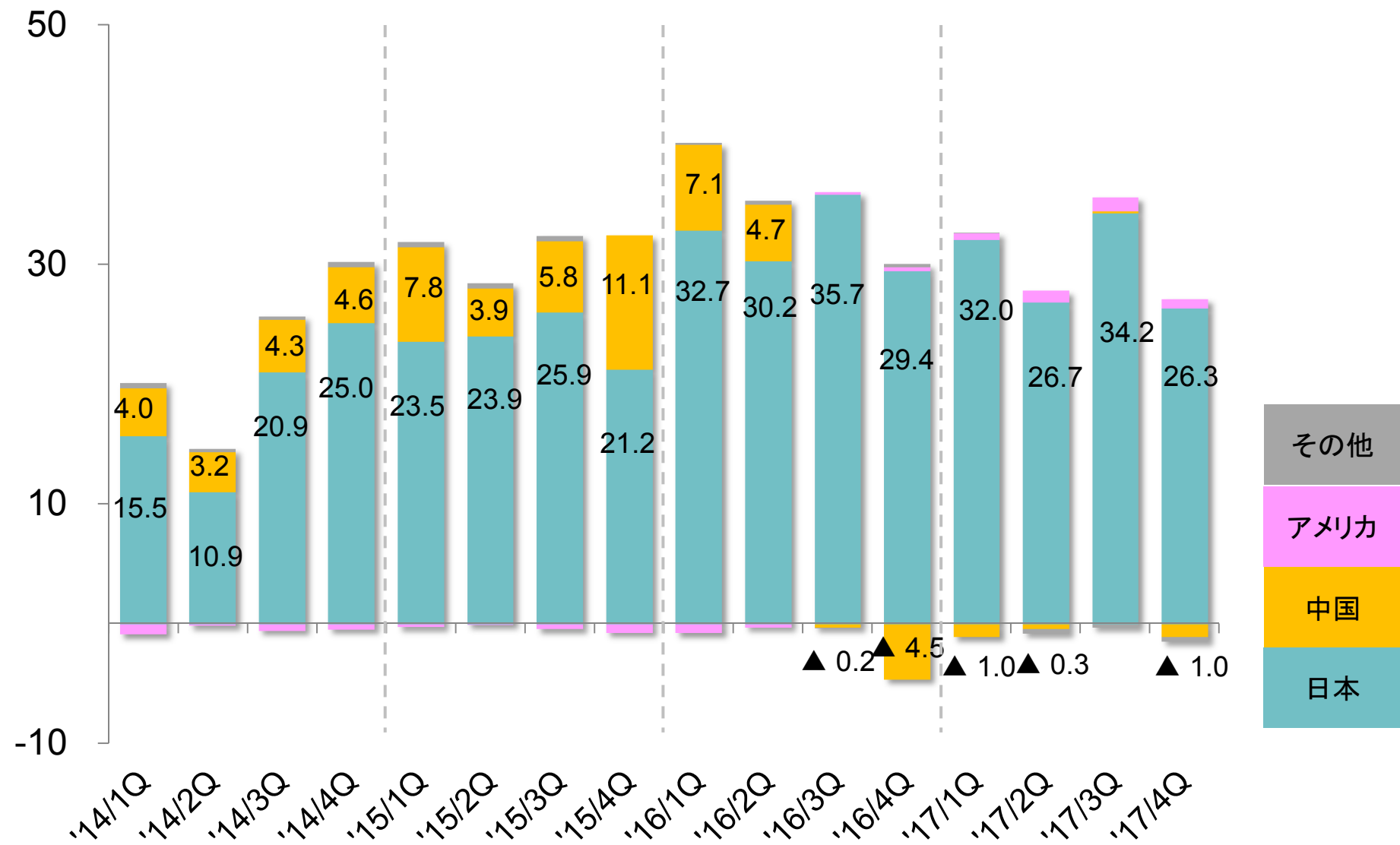
連結所在地別四半期別売上高の推移(単純合算)

(億円)

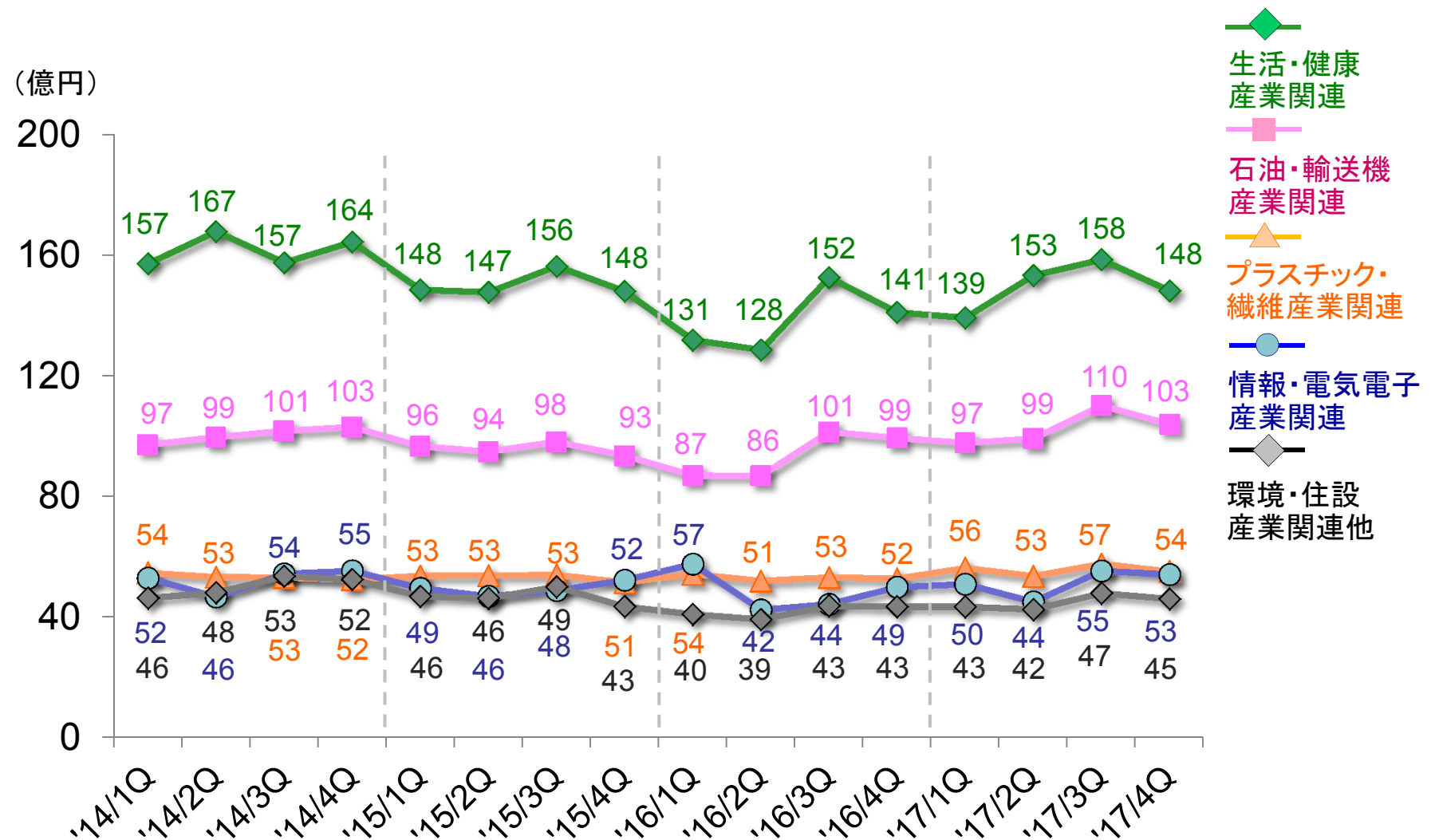


連結所在地別四半期営業利益の推移(単純合算)

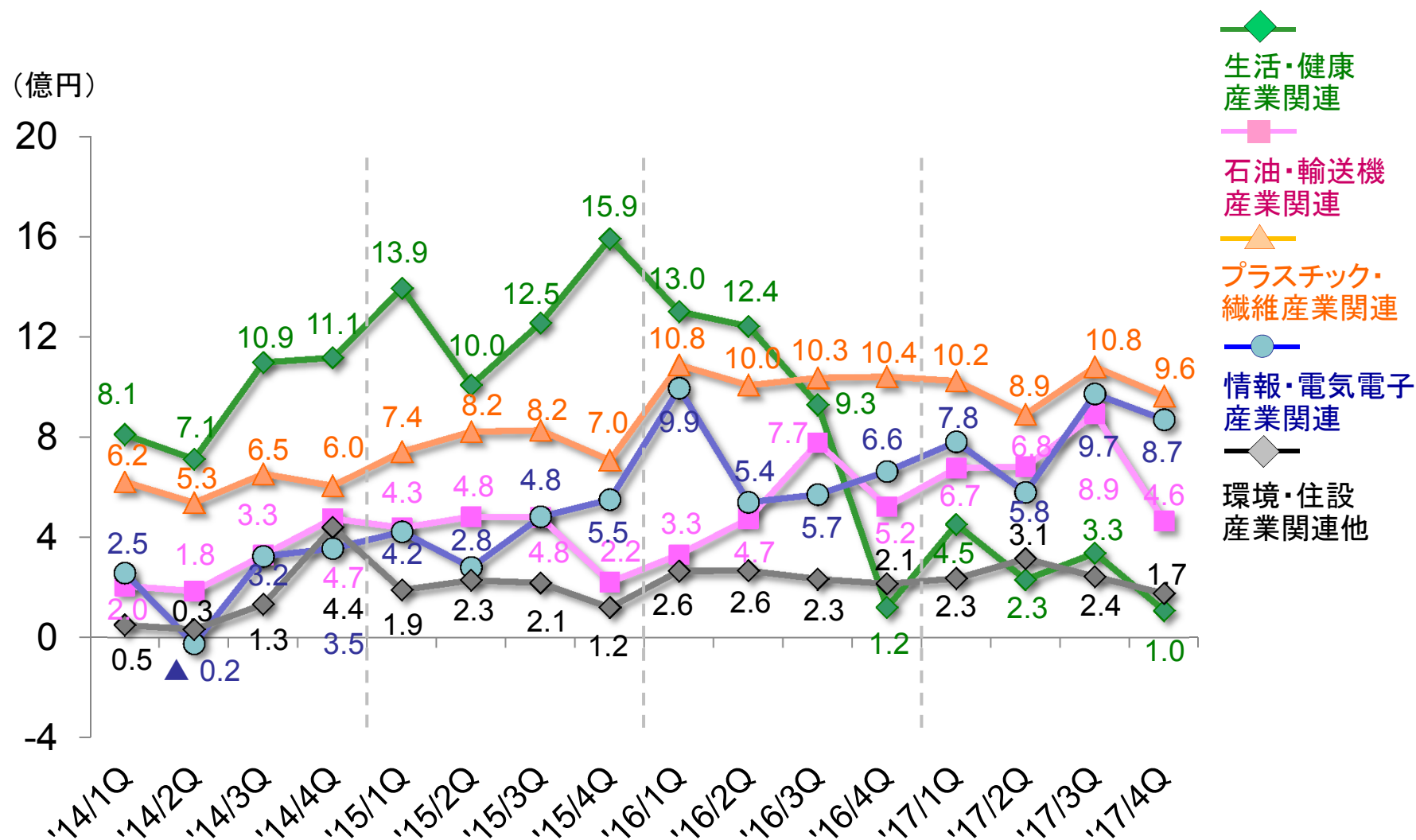
(億円)



連結産業分野別四半期売上高の推移



連結産業分野別四半期営業利益の推移



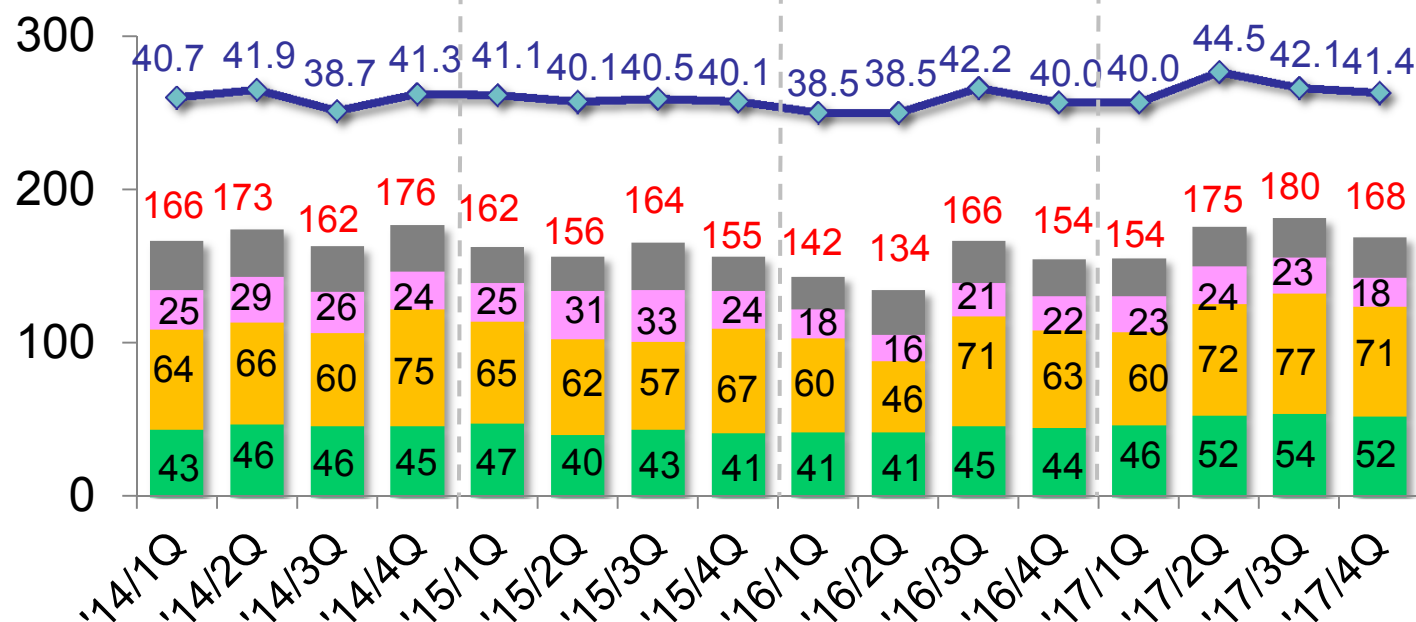
‘16年度より、国内会社の減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

海外売上高の四半期別推移

為替(期中平均)(円 / \$)



売上高(億円)



海外売上高比率(%)

50
40
30
20
10
0

合計

その他

アメリカ

中国

アジア
(中国除く)

国内連結子会社(5社)



会社名	略号	議決権所有割合		事業内容
SDPグローバル(株)	SDP	三洋化成工業(株) 豊田通商(株)	70% 30%	高吸水性樹脂の製造販売
サンノプコ(株)	SNL	三洋化成工業(株)	100%	紙・パルプ薬剤、塗料用薬剤、 各種工業用薬剤等の製造販売
サンケミカル(株)	SCC	三洋化成工業(株) JXTGエネルギー(株)	50% 50%	ポリウレタンフォーム用原料等の製造
サンアプロ(株)	SA	三洋化成工業(株) エボニック・インターナショナル ホールディング B.V.	50% 50%	エポキシ樹脂硬化促進剤、 ウレタン化反応触媒等の製造販売
三洋運輸(株)	三運	三洋化成工業(株)	100%	運送業

海外連結子会社(8社)



会社名	所在国	略号	議決権所有割合		事業内容
三洋化成精細化学品 (南通)有限公司	中国	SKN	三洋化成工業(株)	100%	界面活性剤、 ウレタン樹脂等の製造
三大雅精細化学品 (南通)有限公司	中国	SDN	SDPグローバル(株)	100%	高吸水性樹脂の製造販売
三洋化成(上海)貿易 有限公司	中国	SCST	三洋化成工業(株)	100%	界面活性剤、 ウレタン樹脂等の販売
Sanyo Kasei (Thailand) Ltd.	タイ	SKT	三洋化成工業(株) 豊田通商(株)ほか	89% 11%	界面活性剤、ウレタン樹脂 等の製造販売
SANAM Corporation	米国	SANAM	三洋化成工業(株)	100%	米国子会社の統括会社、 潤滑油添加剤、ウレタン ビーズ等の販売
Sanyo Chemical & Resins, LLC	米国	SCR	SANAM Corporation	100%	潤滑油添加剤の製造
Sanyo Chemical Texas Industries, LLC	米国	SCTI	SANAM Corporation	100%	ウレタンビーズの製造
SDP GLOBAL (MALAYSIA) SDN.BHD.	マレー シア	SDPM	SDPグローバル(株)	100%	高吸水性樹脂の製造販売

持分法適用会社(5社)

会社名	略号	議決権所有割合		事業内容
(株)サン・ペトロケミカル	SPCC	三洋化成工業(株) JXTGエネルギー(株)	50% 50%	合成ゴム原料の製造
Sunrise Chemical LLC [米国]	SRC	SANAM Corp. JX・ニッポン・ケミカル・テキサス	50% 50%	合成ゴム原料の製造
名古屋三洋倉庫(株)	名三倉	三洋化成工業(株)	100%	倉庫業
塩浜ケミカル倉庫(株)	塩ケミ	三洋化成工業(株) JXTGエネルギー(株)	50% 50%	倉庫業
(株)サンリビング	SL	三洋化成工業(株)	100%	不動産、保険代理業